

図面リスト

通し番号	図面番号	名	称	縮尺	通し番号	図面番号	名	称	縮尺
		表紙			20	6 - 1	ソフトウェア情報学部棟	2階平面図	1/200
		図面リスト			21	6 - 2	ソフトウェア情報学部棟	3階平面図	1/200
					22	6 - 3	ソフトウェア情報学部棟	4階平面図	1/200
1	1 - 1	改修特記仕様書（1）			23	6 - 4	ソフトウェア情報学部棟	塔屋屋根平面図	1/200
2	1 - 2	改修特記仕様書（2）			24	7 - 1	メディアセンターA棟、B棟	2階平面図	1/200
3	1 - 3	改修特記仕様書（3）			25	7 - 2	メディアセンターA棟、B棟	3階平面図	1/200
4	1 - 4	改修特記仕様書（4）			26	7 - 3	メディアセンターA棟、B棟	4階平面図	1/200
5	2 - 1	凡例・注記			27	7 - 4	メディアセンターA棟、B棟	屋根伏図	1/200
6	2 - 2	機器姿図			28	8 - 1	学生ホール棟	2、3階平面図	1/200
7	2 - 3	回線数表、幹線ブロック図、幹線系統図（1）			29	9 - 1	体育棟	2、3階平面図	1/200
8	2 - 4	幹線系統図（2）			30	9 - 2	体育棟	ピット平面図、屋根伏図	1/200
9	2 - 5	幹線系統図（3）			31	10 - 1	エネルギーセンター	1階平面図	1/200
10	2 - 6	幹線系統図（4）			32	11 - 1	社会福祉学部棟	2階平面図	1/200
11	3 - 1	本部棟	平面図	1/200	33	11 - 2	社会福祉学部棟	3階平面図	1/200
12	4 - 1	共通講義棟	1階平面図	1/200	34	11 - 3	社会福祉学部棟	4階平面図	1/200
13	4 - 2	共通講義棟	2階平面図	1/200	35	11 - 4	社会福祉学部棟	塔屋屋根平面図	1/200
14	4 - 3	共通講義棟	3階平面図	1/200	36	12 - 1	看護学部棟	1階平面図	1/200
15	4 - 4	共通講義棟	塔屋屋根平面図	1/200	37	12 - 1	看護学部棟	2階平面図	1/200
16	5 - 1	総合政策学部棟	1階平面図	1/200	38	12 - 1	看護学部棟	3階平面図	1/200
17	5 - 2	総合政策学部棟	2階平面図	1/200	39	12 - 1	看護学部棟	4階・塔屋屋根平面図	1/200
18	5 - 3	総合政策学部棟	3階平面図	1/200	40	13 - 1	短期大学部棟	トレンチ・1階平面図	1/200
19	5 - 4	総合政策学部棟	4階・塔屋平面図	1/200	41	13 - 2	短期大学部棟	2階・3階平面図	1/200

[illegible]

[illegible]

1	特記仕様書(4)	-										
3.3 電気設備工事特記仕様書			第16節 表示工事		追補		改修標準 第12節 インサート及びアンカー					
第1編 一般共通事項 (電気)			2.16.1 一般事項		a.表示工事施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。		2.12.3 あと施工アンカー		a.埋込み配管等の探査の範囲及び方法 ○穿孔部を非破壊検査することとするが、詳細は監理者の指示による b.あと施工アンカーの性能試験及び施工後確認試験 ○監理者と協議する			
第2章 共通工事 (電気)			2.16.2 機器類の表示		a.機器類には、機器番号・機器名称・主たる仕様を表示する。 b.表示位置はメンテナンス通路から見やすい位置とし、判別しやすい大ききで表示する。		2.12.4 追補		a.工事の施工は、着手に先立ち施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。 b.既存のインサート及びアンカーボルトを利用する場合の条件 引張強度の確認試験(性能確認試験、施工後確認試験) ○確認試験を行う ・確認試験を行わない 1)引張強度試験の方法は、非破壊試験とし、試験本数は全本数の0.5%又は3本以上とする。 2)金属拡張アンカーボルトは、設計用引張強度に等しい荷重まで加力試験し、抜け出し等の変形が見られなければ合格とする。 3)接着系アンカーは、接着剤の硬化時間を考慮して所定の強度が発現してから、設計用引張強度に等しい荷重まで加力試験し、抜け出し等の変形が見られなければ合格とする。			
第1節 仮設工事			2.16.3 種類の表示		a.銘類には、銘記号・銘名称を表示する。 b.銘扉裏には、受注者銘板・締付け確認票を貼り付ける。 c.配線の導体接続用端子台には、規定の締付け後にマーキングを行い、締付け確認票に日付と氏名を記入する。		既存のインサート等の利用					
第10節 インサート			2.16.4 その他		d.ブルボックスには用途表示、配線には回路・行き先等を表示する。 e.天井点検口の裏面には、点検口から保守点検する機器・器具等の項目と位置を示す表示票を貼付する。 f.現地の状況に応じて「危険注意、乗らぬこと」等の注意喚起の表示を行う。 g.バッテリー類は設置場所と交換時期を記載したバッテリーリストを作成のうえ、該当機器の見やすい位置に「バッテリー交換有り」の表示を行う。 h.ケーブルの表示札は接続点付近及び次の部分に行う。 EPS(○各階 ・()階ごと) 横引きケーブルラック(○分岐部 ・()mごと)		2.12.5 追補		a.アンカーの耐震計算 機器の固定 ※0.1kN以内の機器を除き、原則として工事対象機器は、すべて耐震計算を行う。			
第11節 あと施工アンカー 追補			改修標準 第1編 一般共通事項 (電気)				第2編 電力設備工事					
2.11.1 一般事項			改修標準 第2章 共通工事 (電気)				第1章 機材					
a.監理者事務所等 ・			改修標準 第2節 仮設工事				第1節 電線類					
b.配管、ケーブルラック、機器等の天井吊り下げ支持はインサートが基本であるが、設計変更、納まり上インサートが使用できないなどやむを得ない場合にのみあと施工アンカーの使用を認める。			2.2.4 工事用電力等		a.工事用電力 ※既存設備使用(電力量計の設置 ○有(本工事で取付け、計量) ・無) ・発電機等使用(詳細は設計図による)		1.1.1 付加		a.電線種別 ・EW電線、EWケーブル ○一般電線、一般ケーブル			
c.工事の施工は、着手に先立ち施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。耐震計算書と施工を照合し検査記録書を作成し監理者に提出する。			2.2.7 監理者事務所		a.監理者事務所の設置 ・既存建築物内の一部を使用 ○構内に設置 ・構外に設置 ・その他() b.監理者事務所の規模 ・10㎡程度 ・20㎡程度 ・35㎡程度 ・65㎡程度 ・100㎡程度 ・㎡程度 ○上記のほかは会議室(受注者等と共用で可、㎡程度) ・上記のほかは休憩室、更衣室(㎡程度) c.監理者事務所の内装仕上げは、次の程度とする。		第2章 施工					
d.あと施工アンカーの施工管理には、工事内容に相応した施工の指導を行う施工管理技術者を置く。受注者は、日本建築あと施工アンカー協会の資格を有する者か、又はあと施工アンカーについて十分習熟し、かつ十分な技能及び経験を有する者が施工を行う。 あと施工アンカー施工における有資格者の指定は、次による。 ※指定あり ・指定なし 施工管理技術者 ※あと施工アンカー技術管理士 ・あと施工アンカー主任技士 技能者 ※第1種あと施工アンカー施工士 ・特2種あと施工アンカー施工士 ・第2種あと施工アンカー施工士			床		部位等 仕上げ ビニル床シート張り又はタイルカーペット		第1節 共通事項					
f.あと施工アンカーの適用は以下のとおりとする。 1)あと施工アンカーの選定は、日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版、空調調和・衛生工学会「建築設備用あと施工アンカー SHASE-S 012」に準拠するとともに、日本建築あと施工アンカー協会(JCAA)の認証品を使用する。また、選定したあと施工アンカー製造者による実技講習会を開催し、受注者は使用するあと施工アンカーの製品知識と十分な技能を習得し施工する。 2)地震力については、「工事概要書 2-3 総合耐震クライテリア」に準じて算定したものと する。 3)アンカー金物の最大耐力が、定着するコンクリート躯体のコーン破壊で決まる場合の安全率は、長期荷重：3 短期荷重：2 以上とする。また、許容引抜荷重の計算では、第一種、第二種軽量コンクリートが使用される場合は、一割程度裕度ある選定を行う。 4)金属拡張あと施工アンカーはおねじ型とし、スリーブ打込み式、ウェッジ式とする。やむを得ずめねじ型を使用する場合は、内部コーン打込み式とし、支持重量は20kg以下を原則とする。ボルト部は、JIS 0 3101・JIS 0 3112又はこれらと同等以上の品質を有するものとする。金属系アンカーボルトの定着部(スリーブ)は、JIS 0 3101・JIS 0 3123又はこれと同等以上の品質を有するものとする。 5)接着系あと施工アンカーの固着剤はカプセル方式を原則とし、耐薬品性・耐熱性等の施工条件を考慮して選定する。ボルト部は、JIS 0 3101・JIS 0 3112又はJIS 0 4051による。固着剤は、エポキシ系樹脂・ポリエステル系樹脂又はセメント系とする。また、接着系アンカーは配管・ダクト・機器等の天井吊り下げ用には使用してはならない。 6)共通支持部材の吊りには、あと施工アンカーを使用しないことを原則とする。 7)雨掛りとなるあと施工アンカー部分では、取り合い部分にシーリングを行い、止水処理を行う。 8)防水保護コンクリートへのあと施工アンカーは行わない。やむを得ずあと施工アンカーとする場合は、防水層・鉄筋・埋設配管類に対し損傷影響がない旨の資料を作成し、監理者の承認を受ける。 9)あと施工アンカーは、梁底に打ち込むことを禁止する。 10)そのほか、改修標準[第1編 第2章 第12節 インサート及びアンカー]に準拠して施工を行う。 11)原則以外のことを行う場合は、監理者と協議する。 g.あと施工アンカーを使用する場所における埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、場所ごとに監理者と協議する。			壁		合成樹脂エマルションペイント塗り、壁紙張り又は プリントせっこうボード		1.1.1 付加		a.耐震安全性の分類 ・官庁施設の場合(・特定の施設 ・一般の施設) ○本建築物には適用せず「工事概要書 2-3 総合耐震クライテリア」による。			
第12節 シックハウス対応 追補			天井		化粧せっこうボード又はロックウール化粧吸音板		第6編 通信・情報設備工事					
2.12.1 室内空気質対応に関連する法令・基準の適用			d.監理者事務所の備品等 1)監理者事務所には、照明・電力・給排水衛生・冷暖房等の設備を設け、次の備品を置く。 数量は、監理者の指示による。 机、いす、会議テーブル、書棚、見本棚、衣類ロッカー、ゴム長靴、雨がっぱ、安全帯、携帯灯具、消火器、温度計、時計、ごみ箱、白板、給茶器、図面架、電話、デジタルカメラ(広角撮影が可能なズーム付きタイプ)、カラー複合機(プリンタ、コピー、スキャナ、ファクシミリの機能を備え、A3判まで対応可能なもの)、液晶プロジェクター、映写スクリーン、シュレツダー、事務用品一式 2)監理者事務所には、次のOA環境を備える。 イ.原則として光回線2回線(プロバイダー加入を含む)を引き込むものとする。そのうちの1回線は、固定IPアドレスの回線とする。(例：03N光「フレッツ」IP1・ファミリータイプ程度) 3)監理者事務所の光熱水料・回線使用料・消耗品補充及び清掃費用は、受注者の負担とする。 e.工事名称等の表示 1)工事名称等の表示 ※あり ・なし 2)「あり」の場合は、次による。 イ.仮囲いや外部足場外面に、関係法令に定める掲示物のほか、監理者の指示する工事名称・発注者、設計監理者等の表示を設ける。その他の看板等の掲示物については、監理者と協議する。掲示すべき表示のうち、「設計監理者看板」として次を支給する。 ※角型シート[900角](※1枚 ・枚) ※短冊形シート[W1,000×H3,000](※3枚 ・枚) ・その他()		改修標準 第10節 スリーブ工事		第1章 機材					
2.12.4 塗料			2.10.1 付加		a.材料・形式等		第1節 電線類		a.電線種別 ・EW電線、EWケーブル ○一般電線、一般ケーブル			
a.屋内に用いる塗料は、水性系でホルムアルデヒドの放散量等級がF☆☆☆☆のものとする。またトルエン・キシレン・エチルベンゼンは放散しないか、放散が極めて少ないものとする。やむを得ず、これらの物質を含むものを使用する場合は、その使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設けるなど改善措置を講ずる。			スリーブ		1)工事の着手に先立ち建・電・機の共通の施工計画書、施工図を作成し、監理者の承認を受ける。 2)スリーブ及び止水材等の仕様は、施工部位、工種により適切な材料・形状の物を使用する。		1.1.1 付加		b.キャビネットの塗装色 ○製造者の標準色 ・指定色 ・設計図による			
2.12.5 接着剤			改修標準 第11節 はつり工事		2.11.2 非破壊調査		1.4.5 通信用SPD		a.SPの設置カテゴリ 自動火災報知設備用 ※なし ・カテゴリC2 ・カテゴリD1 b.カテゴリD1の性能 インパルス耐久性 ※2.5kA以上 ・1kA以上 ・0.5kA以上 インパルス耐久性以外の仕様はカテゴリC2の通信用SPD仕様に準拠する。			
a.各所に用いる接着剤は、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼンを含まないものとする。また接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル・フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性のものとする。ただし、設計図又は特仕の指定によりエポキシ樹脂系接着剤を使用する場合は、これらの物質の使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設けるなど改善措置を講ずる。			2.11.3 穴開け及び補修		a.貫通場所、口径等 ○設計図による ・ b.配管貫通部処理方法 ※区画貫通部は、法に準拠した処置を行う。その他の貫通部は、ロックウール保温材で充填し、脱落防止の処置を施す。		改修標準 第6編 通信・情報設備工事					
2.12.6 施工中の措置			2.11.4 溝はつり及び補修		a.はつりを行う箇所及びはつり深さ ※設計図による ・		改修標準 第1章 機材					
2.12.7 内装施工後の室内空気質測定							改修標準 第1節 共通事項					
							改修標準 第10節 共通事項					
							2.1.13 機器の取外し、再使用		a.既設端末機器の再使用 ※取替え ・再使用(機器名)			
							2.1.14 主装置等の更新		a.主装置等の撤去、改造又は更新 ・撤去(機器名) ・更新(機器名 受信機、主中継器盤内装置、中継器盤内装置) ・改造(機器名) b.主装置等の撤去に接続されている電線収納物・ケーブル保護物が支障となる場合。 ※接続されている電線収納物・ケーブル保護物を一部撤去、更新 ・その他()			
着工							改修標準 第1節 共通事項					
竣工							1.1.1 付加		a.分割搬入機器 分割搬入機器 ○なし ・あり(設計図による)			
監理							改修標準 第2章 施工					
施工							改修標準 第1節 共通事項					

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

改修特記仕様書(4)

(通し番号 4)
1 - 4

J-180869 -A

18,10,01改訂仕様書委員会 作成

1	凡例・註記	N/S																															
	今添対応	凡	例																														
更新 再使用	新設																																
○		G R 型 受 信 機	注記参照																														
○		副 受 信 機	注記参照(注1)																														
○		防 災 監 視 卓	注記参照																														
○		防 災 I ノ F 機	注記参照																														
	○		光 成 端 箱																														
○		防 災 主 中 継 器 機	注記参照																														
○		防 災 中 継 器 機	注記参照																														
○		感 知 器 中 継 器 機	1回線用																														
	○		非 常 放 送 設 備 (非常放送工事)																														
	○		機 器 収 容 箱 消火栓組立型 ㊦ 収容																														
	○		機 器 収 容 箱 屋外消火栓組込 ㊦㊧ 収容																														
○		表 示 灯 24V LED 防水型																															
○		フ ラ ッ ト 受 信 機 P型1臺 R型用 7フレックス用 専用表示灯 (24V LED) 付																															
○		消 火 栓 始 動 押 印																															
○		運 動 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 2種 露出型 自動試験・自動感度修正																															
○		光 電 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 1へ3種レベル 露出型 自動試験・自動感度修正(注2)																															
○		光 電 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 1へ3種レベル 埋込型 自動試験・自動感度修正																															
○		光 電 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 1へ3種レベル 警付用点検ボックス付 自動試験・自動感度修正																															
○		光 電 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 1へ3種レベル 露出型 防排煙連動兼用																															
○		光 電 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 1へ3種レベル 埋込型 防排煙連動兼用																															
○		熱 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 特種レベル 45～80℃ 防水露出型 自動試験・自動感度修正																															
○		熱 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 特種レベル 45～80℃ 露出型 自動試験・自動感度修正																															
○		熱 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 特種レベル 45～80℃ 防水露出型 自動試験・自動感度修正																															
○		熱 ア ナ ログ 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 特種レベル 45～80℃ 防水露出型 自動試験・自動感度修正																															
○		光 電 式 分 離 型 感 知 器 機 2種 送光部																															
○		光 電 式 分 離 型 感 知 器 機 2種 受光部																															
○		差 動 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 2種																															
○		赤 外 線 式 スポ ッ ト 型 感 知 器 機 公称監視距離 17～30m 視野角100°																															
○		終 端 器																															
○		ガ ス 漏 れ 中 継 器 機 表示灯付																															
○		ガ ス 漏 れ 感 知 器 機 AC100V 壁掛型 LPガス用																															
○		自 動 閉 鎖 装 置 機 防火戸用 ラッチ式																															
○		自 動 閉 鎖 装 置 機 防火シャッター用 (建築工事)																															
○		圧 電 プ ザ 機 防火シャッター降下警報用																															
○		自 動 閉 鎖 装 置 機 防火ダンパー用 遠隔検察(空調工事)																															
○		電 気 錠 機 (建築工事)																															
○		運 動 中 継 器 機 順次送り用																															
○		屋 内 消 火 栓 制 御 機 機 移報器 ボンプ始動用 表示灯用電源2A																															
○		ガ ス 消 火 設 備 制 御 機 機 二酸化炭素用 (衛生工事)																															
○	○	<table><tr><td>-----</td><td>配 管 配 線</td><td>天井いんべい</td></tr><tr><td>-----</td><td>配 管 配 線</td><td>露出</td></tr><tr><td>-----</td><td>配 管 配 線</td><td>トレンチ内</td></tr><tr><td>-----</td><td>配 管 配 線</td><td>天井いんべい</td></tr><tr><td>-----</td><td>配 管 配 線</td><td>立上がり・束通し・引下げ</td></tr><tr><td>-----</td><td>コ ン ト ロ ール ボ ッ ク ス</td><td></td></tr><tr><td>-----</td><td>コ ン ト ロ ール ボ ッ ク ス</td><td></td></tr><tr><td>-----</td><td>配 管 つ き し</td><td></td></tr><tr><td>-----</td><td>配 管 つ き し</td><td></td></tr><tr><td>-----</td><td>ケ ー ブ ル ラ ッ ク</td><td></td></tr></table>	-----	配 管 配 線	天井いんべい	-----	配 管 配 線	露出	-----	配 管 配 線	トレンチ内	-----	配 管 配 線	天井いんべい	-----	配 管 配 線	立上がり・束通し・引下げ	-----	コ ン ト ロ ール ボ ッ ク ス		-----	コ ン ト ロ ール ボ ッ ク ス		-----	配 管 つ き し		-----	配 管 つ き し		-----	ケ ー ブ ル ラ ッ ク		
-----	配 管 配 線	天井いんべい																															
-----	配 管 配 線	露出																															
-----	配 管 配 線	トレンチ内																															
-----	配 管 配 線	天井いんべい																															
-----	配 管 配 線	立上がり・束通し・引下げ																															
-----	コ ン ト ロ ール ボ ッ ク ス																																
-----	コ ン ト ロ ール ボ ッ ク ス																																
-----	配 管 つ き し																																
-----	配 管 つ き し																																
-----	ケ ー ブ ル ラ ッ ク																																
		警 戒 区 域 番 号 発信機用																															
		警 戒 区 域 番 号 ガス漏れ警報用																															
		制 御 番 号 防火戸用																															
		制 御 番 号 防火シャッター用																															
		制 御 番 号 防火ダンパー用																															
		表 示 番 号 二酸化炭素消火設備用																															

注 記
【システム概要】
(1) 総合操作盤を常時人がいる防災監視場所に設置し、建物内の防災設備の集中監視及び制御を行う。
総合操作盤はGR型受信機、防災I/F機、防災監視卓等で構成される。
1 GR型受信機
・受信機に分散方式のGR型システムを採用し、機能の分散による安全性の向上を図る。
・建物内に分散配置された防災主中継器機は、受信機から切り離された場合においても独立して自ブロック内の監視・連動制御を行う。
・主幹線は耐熱光ファイバケーブルの2重ループ配線とし、断線時においてもループバック機能により防災システムの機能を維持する。
1) 種別 複合GR型受信機 警報式 分散方式 自動試験機能付 アナログ式
2) 形式 卓型
3) 主電源 AC・GC100V予備電源内蔵
4) 系統数 4590アドレス (255アドレス×18系統)
5) 表示方式
a) デジタル表示部 火報 8桁×2窓
ガス漏れ 8桁×2窓
防排煙 8桁×2窓
b) カラー液晶表示部(10、4型 カラータッチパネル)
・漢字、カタ、英数字メッセージ
・警報表示、故障表示、他
6) 主警報方式 電子ブザー、スピーカ音声合成警報(32種)
7) 操作方式 カラー液晶表示部タッチパネル、簡易式スイッチ、他
8) 記録方式 内装漢字プリンター・印字、内部メモリ(2000件)
自動試験結果履歴(30件)
9) 通話方式 保守電話(3者通話可能)
10) 主幹線 光ケーブル対応型(別途光成端箱必要)
11) 機能
a) 遠隔ロック機能
・設定により設備機能等を伴う遠隔ロックの防止を自動的に行う
b) イベントデータ管理機能
・各種警報、操作履歴、自動試験結果の呼出し表示及び印字
c) 画面消灯機能
・正時時自動画面消灯、省エネ機能
d) 自己診断試験機能(手動の自動試験)
・感知器試験、電池試験、顧客データチェック
試験終了後、液晶画面にて試験結果を表示
e) 感知器汚れ検出機能
・自動試験時に汚れ判定を実施
f) 感度・警報時間変更機能
・感知器等の感度及び警報時間を個別変更
g) ブロック感度切替機能
・各ブロックの月～日の曜日毎に、24時間中の最小1時間毎に通常感度/特別感度への切替スケジュール設定が可能
h) 対応ガイダンス表示機能
・液晶画面の警報画面にて、火災/非火災時の対応ガイドウィンドウを表示
・液晶画面の異常/故障画面にて、異常/故障内容毎の対応ガイドウィンドウを表示
i) 訓練機能
・火災シミュレーション(火災/非火災時にとるべく行動を簡易形式で学習)
j) テレンドグラフィック表示機能
・全てのアナログ感知器を任意に選択し表示
過去5分間/24時間/30日間の期間履歴を切り替えて表示
k) 操作中スイッチ表示機能
・液晶表示画面の操作中スイッチリストに定位しないSWを表示
1) 防排煙一括復旧制御機能
・作動中の復旧付諸未のみを抽出し、復旧制御が可能
それらを全選択しての一括復旧制御も可能
m) 主幹線ループバック機能
n) バックアップ機能
・GR型受信機及び防災主中継器機との通信不可能時、防災主中継器機単独または防災主中継器機間相互連動可能
o) 画面コピー機能
・液晶表示特定画面(トレンド関係画面、感度スケジュール画面)のみ対応
p) フレックスオートシステム
・専用中継器の接続によりゾーン警戒区域単位で感知器の自動試験を行い感知器増減の際もデータ変更作業は不要とする
q) 種別火災管理機能(最大16層まで)
・火災確定報、発信機入力等の火災管理を種別に行い地区警報装置(電鈴または非常放送設備)の制御(再鳴動、拡大鳴動)を駆逐に行う
12) 通信
a) 副受信機/入出力基取用 (RS485) 1ch
b) 防災ディスプレイネットワーク用(Ethernet) 1ch
c) 非常電話用 (RS232C) 1ch
d) 防災I c o n t u e (RS232C) 1ch
13) 組込機器
a) 新番保安器(幹線用)

14) 回線内装
<体育館機>
・火災表示 137L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 127L)
(発信機 10L)
・防火戸 5L
・防火ダンパー 復旧付 142L
<学生ホール機>
・火災表示 169L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 162L)
(発信機 6L)
(感知器中継器 1L)
・ガス漏れ 4L
・防火戸 13L
・防火シャッター 11L
・防火ダンパー 復旧付 4L
・小計 201L
<メディアセンターA機>
・火災表示 147L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 136L)
(発信機 10L)
(感知器中継器 1L)
・防火戸 9L
・防火シャッター 9L
・防火ダンパー 復旧付 4L
・小計 169L
<メディアセンターB機>
・火災表示 61L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 58L)
(発信機 3L)
・防火戸 1L
・防火ダンパー 復旧付 1L
・小計 63L
<エネルギーセンター機>
・火災表示 117L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 113L)
(発信機 4L)
・防火戸 1L
・屋外消火栓 ボンプ運転・故障・押水増減減 3L
・不活性ガス消火設備(二酸化炭素消火用) 扉開・放出、即路異常 3L
・不活性ガス消火設備(二酸化炭素消火用) 放出区画火災信号移信 4L
・小計 128L
<ソフトウェア情報学部B機>
・火災表示 160L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 149L)
(発信機 9L)
(光電式分離型中継器 2L)
・防火戸 13L
・防火シャッター 6L
・防火ダンパー 復旧付 8L
・小計 187L
<ソフトウェア情報学部A機>
・火災表示 272L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 267L)
(発信機 12L)
(光電式分離型中継器 3L)
・防火戸 23L
・防火シャッター 16L
・防火ダンパー 復旧付 8L
・小計 319L
<総合政策学部機>
・火災表示 264L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 246L)
(発信機 16L)
(光電式分離型中継器 2L)
・ガス漏れ 3L
・防火戸 19L
・防火シャッター 20L
・防火ダンパー 復旧付 8L
・小計 314L

<共通演義機>
・火災表示 188L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 173L)
(発信機 15L)
・防火戸 20L
・防火シャッター 6L
・防火ダンパー 復旧付 5L
・小計 219L
<本部機>
・火災表示 92L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 87L)
(発信機 5L)
・防火戸 2L
・防火ダンパー 復旧付 4L
・小計 98L
<社会福祉学部機>
・火災表示 292L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 277L)
画面移動(マウスドラッグ操作)
画面拡大縮小(マウスホイール操作)
作動画面切替、ユーザ設定スイッチ(最大8個)
火災発報試験、防排煙機未制御、シミュレーション、訓練制御ロック、画面リプレイ、消防活動支援
タッチパネルモニタ対応
画面コピー
・小計 342L
<看護学部機>
・火災表示 308L
ヘルプファイル登録(最大10ファイル)
(アナログ式・自動試験機能付感知器 286L)
(発信機 17L)
(光電式分離型中継器 3L)
・ガス漏れ 4L
・防火戸 21L
・防火シャッター 23L
・防火ダンパー 復旧付 8L
・小計 362L
<短期大学部機>
・火災表示 178L
(アナログ式・自動試験機能付感知器 169L)
(発信機 9L)
・ガス漏れ 9L
・防火戸 13L
・防火シャッター 8L
・防火ダンパー 復旧付 8L
・小計 216L
・合計 2763L

2 防災I/F機(筐体再利用)
1) 形式 自立型
2) 組込機器
a) 付属電源装置
・AC・GC100V予備電源内蔵
・DC24V-11A 出力
b) 入力ユニット(無電圧△接続) 60点[30点用×2台]
c) 出力ユニット(無電圧△接続) 192点[64点用×3台]
d) 新番保安器(幹線用、AC100V電源用)

3 防災監視卓
1) 形式 卓型
2) 主電源 AC・GC100V予備電源内蔵
3) 伝送方式 RS485
4) 表示方式
a) モノクロ液晶表示部
・漢字、かな、英数字メッセージ
・火災、ガス漏れ、防排煙、諸表示情報を任意の表示項目に副受信機毎設定可
5) 通話方式 ジャック式 保守用
6) 設置場所 10台(電利庫・体育館;2階事務室、社会福祉学部機A機;3階学部事務室、ソフトウェア情報学部機A機;3階学部事務室、看護学部機・総合政策学部機;2階学部事務室、短期大学学部機;2階学部事務室、大学管理棟;1階事務室(学生課)、1階守衛室)
メディアセンターA機;3階事務室)
7) 組込機器
a) 保守用電話
b) 新番保安器(幹線用、AC100V電源用)

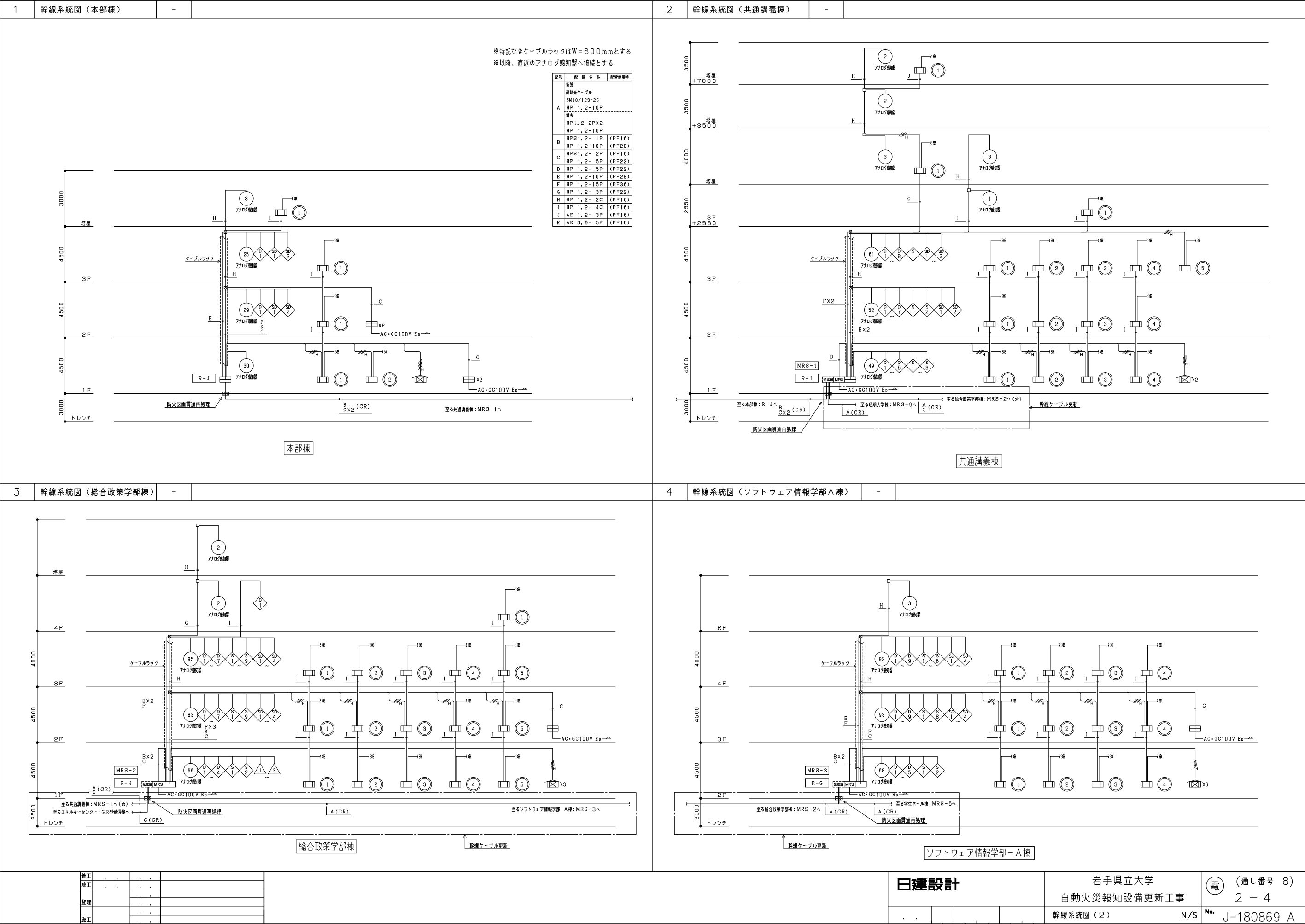
5 防災副受信機(既設筐体及びグラフィックパネル再利用)
1) 形式 自立型
2) 主電源 AC・GC100V予備電源内蔵
3) 表示方式
a) グラフィックパネル(全体平面図)
b) モノクロ液晶表示部
4) 組込機器
a) 保守用電話
b) 新番保安器(幹線用、AC100V電源用)

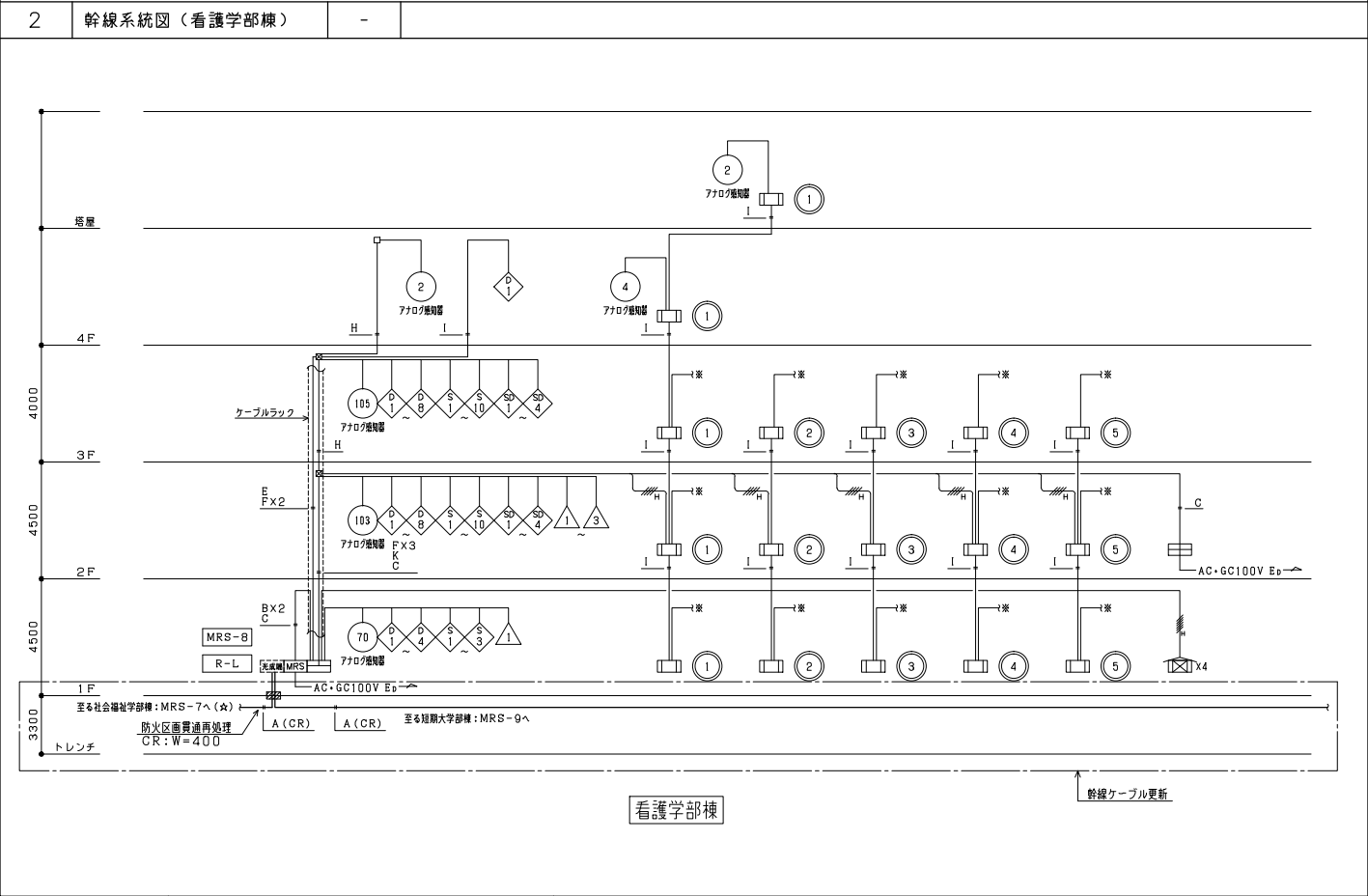
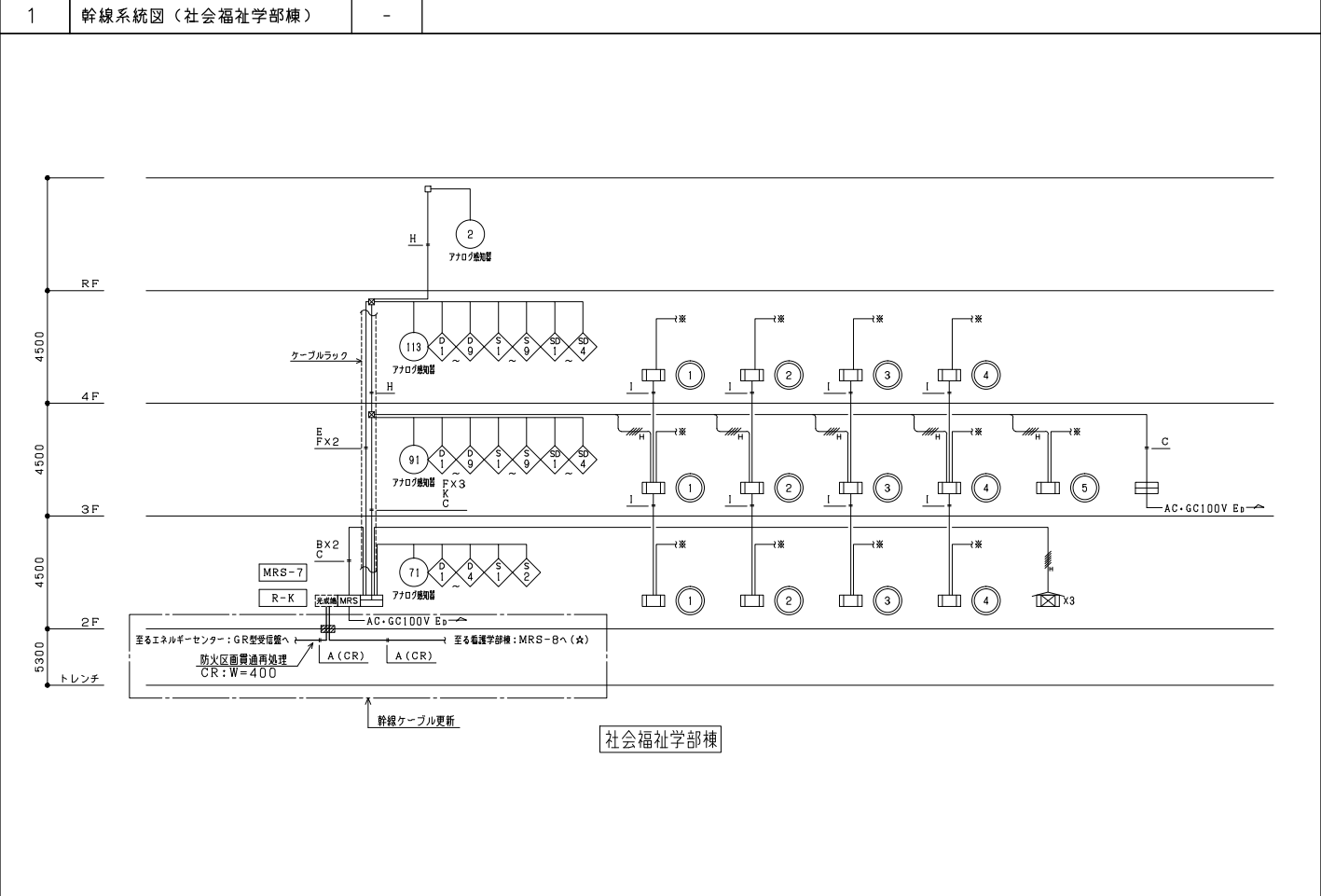
6 防災主中継器機(筐体再利用)
1) 形式 自立型
2) 主電源 AC・GC100V予備電源内蔵
3) 系統数 2系統
4) アドレス数 510アドレス/2系統
5) 回路数 1020回路 /2系統
6) 主幹線 光ケーブル対応型(光成端箱本工事)
7) 機能
a) 主伝送線のループバック機能
b) GR型受信機及び防災主中継器機との通信不可能時、防災主中継器機単独または防災主中継器機間相互連動可能
c) 附属伝送機能(接続点入力ユニット接続)
d) 防災端末機器への連動制御
8) 組込機器
a) 付属電源装置
・AC・GC100V予備電源内蔵
・DC24V-11A 出力
b) 新番保安器(幹線用、AC100V電源用)
9) 収容機器(MRS-9を除く)
a) 各種中継器、幹線アダプター、電話ジャック
10) 回路数 回路数表参照

7 防災中継器機
1) 形式 壁掛型
2) 収容機器 各種中継器、幹線アダプター、電話ジャック
3) 機能 伝送系の短絡及び防排煙制御系のトラブルをローカル毎に切り離すことが可能な機能を組込む。
4) 回路数 回路数表参照
8 防災中継器
1) ガス漏れ中継器 2回線/2アドレス
2) 防排煙中継器(有電圧接点仕様) 6回線/2アドレス
3) 防排煙中継器(無電圧接点仕様) 6回線/2アドレス
4) 感知器中継器 1回線/1アドレス
5) 光電式分離型中継器 1回線/1アドレス
9 アナログ式感知器・自動試験機能付感知器・赤外線式スポット感知器及び感知器用中継器は、1個に対して1警戒区域を設定できる。但し、図面上は600平米以内で1グループ1警戒として表現とする。
10 アナログ式感知器・自動試験機能付感知器・赤外線式スポット感知器及び感知器用中継器限りの記録は、全てH P 1、2-1 Pとする。
11 地区警報は非常放送設備の音声警報によるものとする。
12 入出力信号内訳
△出力信号
1) 防災I/F機は以下設備及び機へ下記信号を移信する。
・非常放送設備 消防火災信号 41点
・非常放送設備 火災確定信号 1点
・合計 62点
2) 防災中継器機は以下設備及び機へ下記信号を移信する。
・ガス消火設備制御機 放出区画火災信号(警戒区域毎) 4点
・合計 4点
*上記点数の中継器内訳は、回路数表を参照のこと。
13 連動機警報方式
種 別 方 式 アナログ式感知器(火災機) アナログ式感知器(運動機) 現場手動 連動制御
起 動 復 旧
防 火 戸 ○ ○ ○ ○
防 火 シャ ッ タ ー ○ ○ ○ ○
防 火 ダ ン パ ー ○ ○ ○ ○

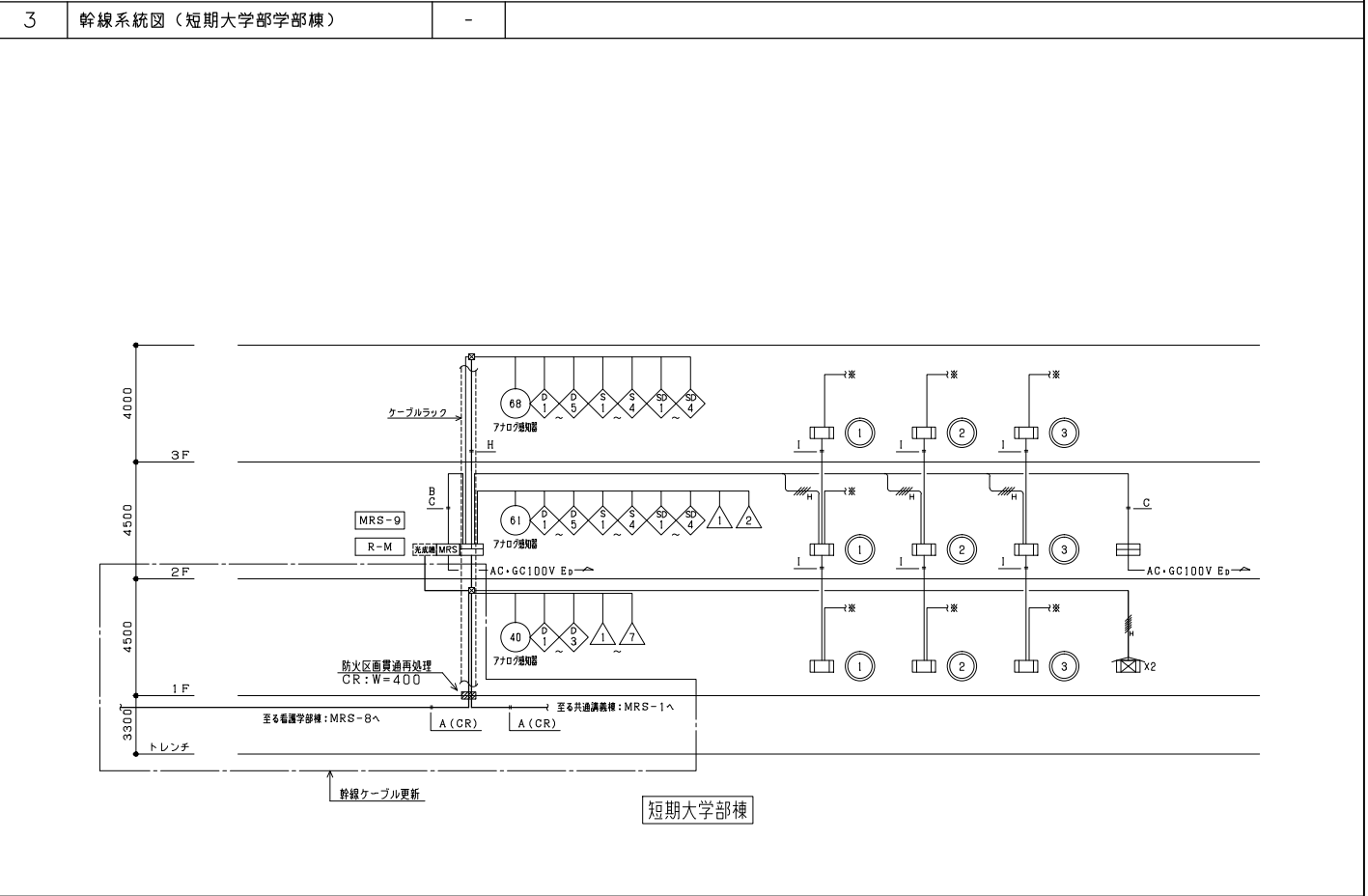
14 圧電プザ機は、防火シャッター降下時鳴動とし、シャッターに内蔵するリミットスイッチにより降下後停止とする。(リミットスイッチ建築工事)
15 本建物は下記についての申請を行う。
本 項 目 関係法令 適用
総合操作盤 消防法施行規則 ○
16 総合操作盤に係る主電源(一次側電源)は、全て非常電源回路から電源供給を受けるものとし、停電時に於いても概ね2時間以上電源供給を受ける。
17 エレベーター用煙感知器の点検ボックスの設置において、以下の工事区分はエレベーター工事とする。
・エレベーター連動停止用スイッチ(スイッチ・取り付け・結線・試験)
・注意喚起シール(シール・貼り付け)
18 機器収容箱は既設筐体再利用とし、収容機器のみ撤去後、新設する。
19 フラット表示灯を使用する場合には、所轄消防と協議を行う工事。
20 細線の設備は、既設を示す。
21 図中、(CR)はケーブルラック上配線を示す。
22 図中、幹線の立上り・引下げの配管配線は、系統図参照とする。
23 特記なき配管配線は下記とする。
-----SP AED, 9-5P -----SP AED, 9-5P (PF16)
-----H HP1, 2-2C -----H HP1, 2-2C (PF16)
-----H HP1, 2-3C -----H HP1, 2-3C (PF16)
-----H HP1, 2-4C -----H HP1, 2-4C (PF16)
-----H HP1, 2-3P -----H HP1, 2-3P (PF16)
-----L AE1, 2-4C -----L AE1, 2-4C (PF16)
-----L AE1, 2-5C -----L AE1, 2-5C (PF16)
-----L AE1, 2-3P -----L AE1, 2-3P (PF16)

[illegible]

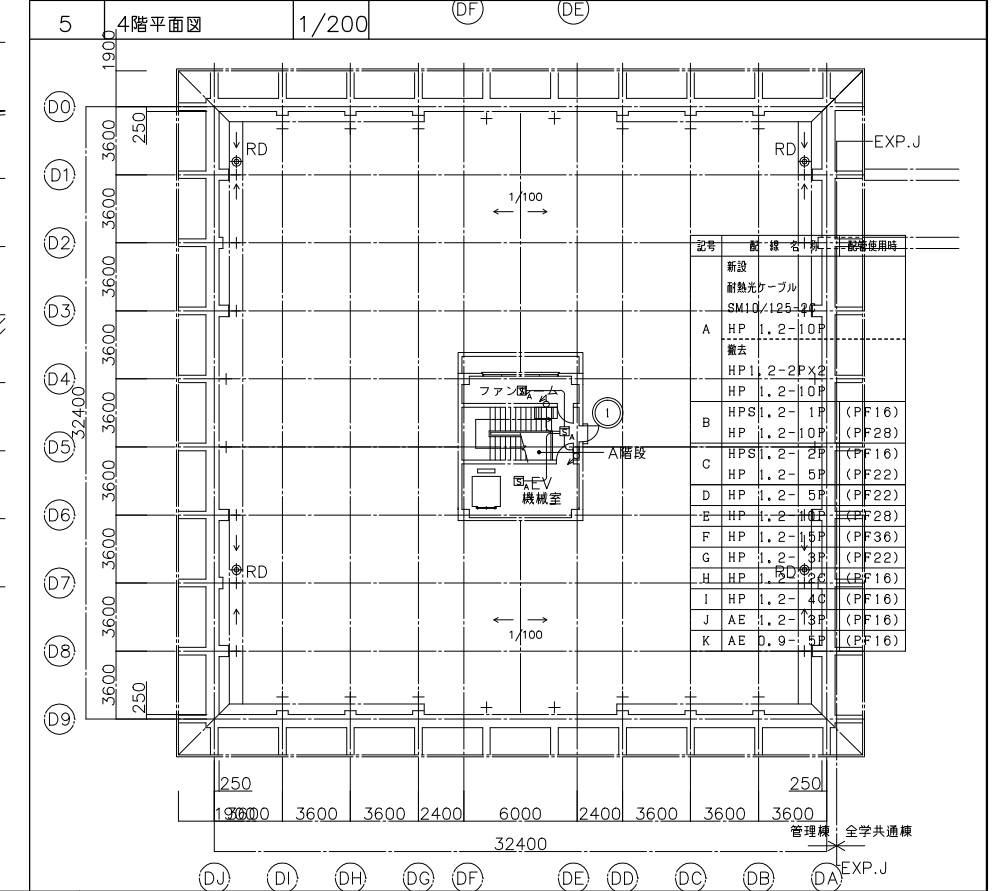
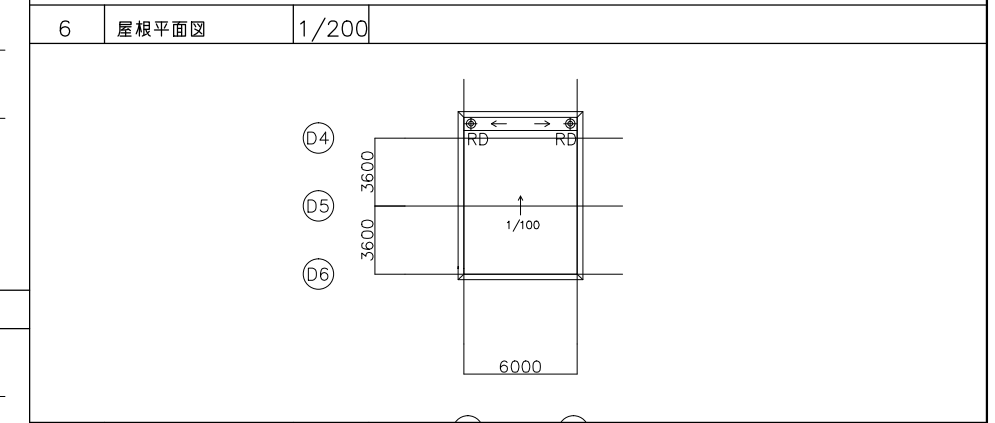
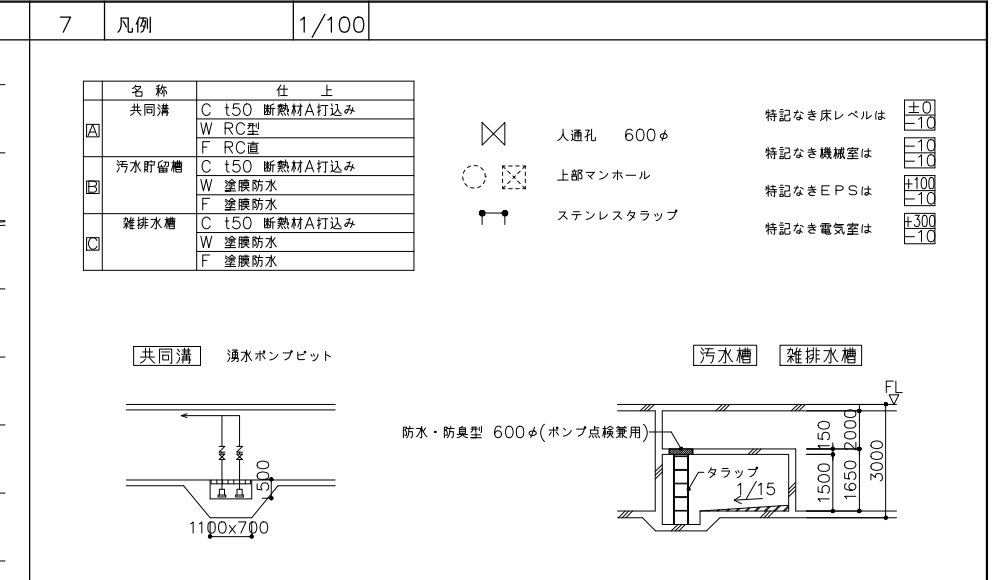
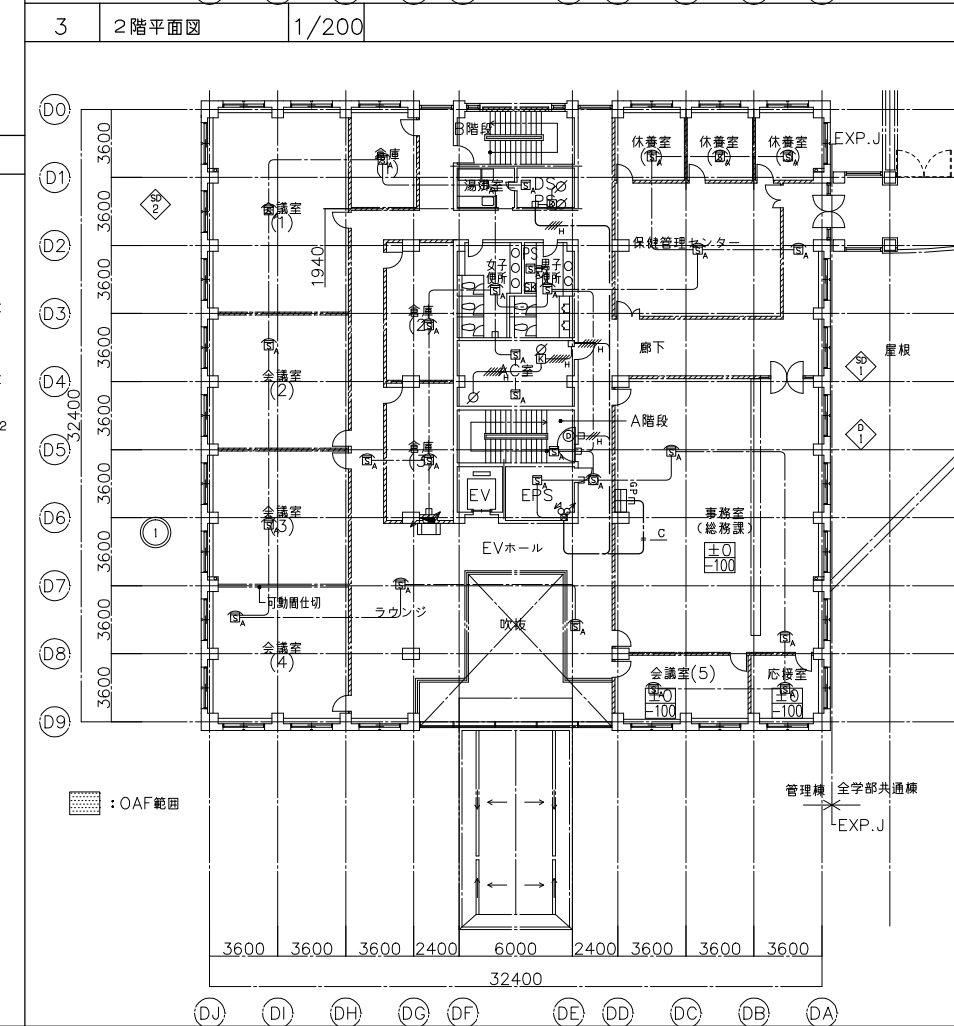
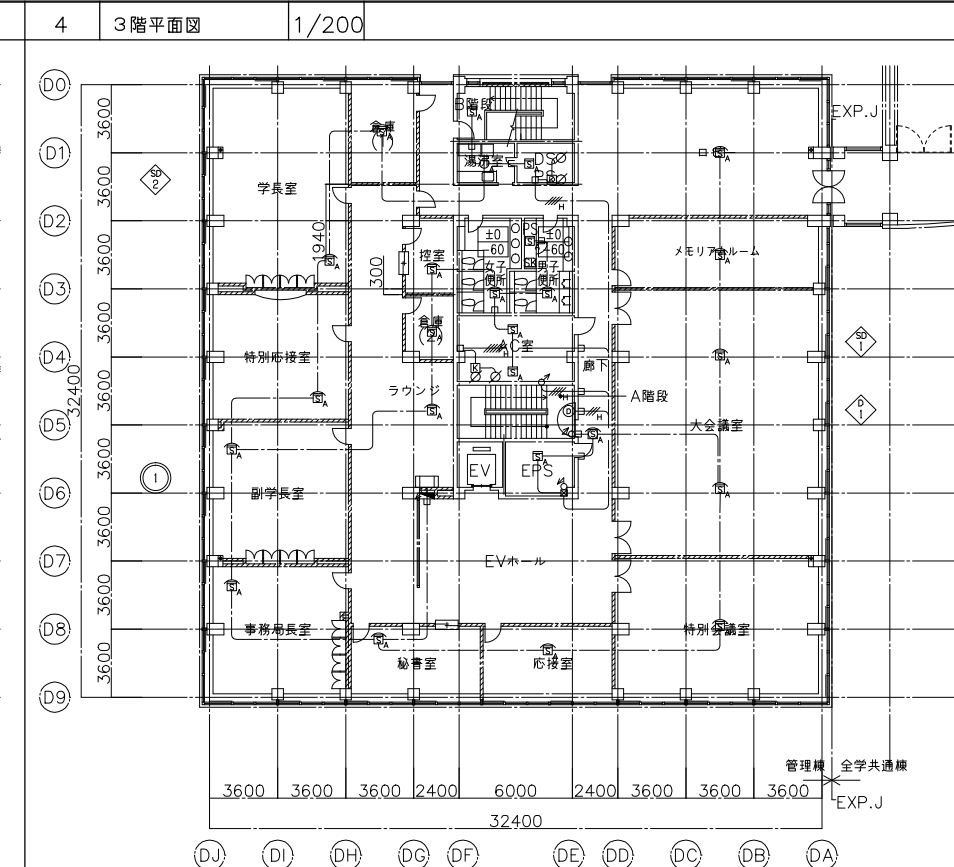
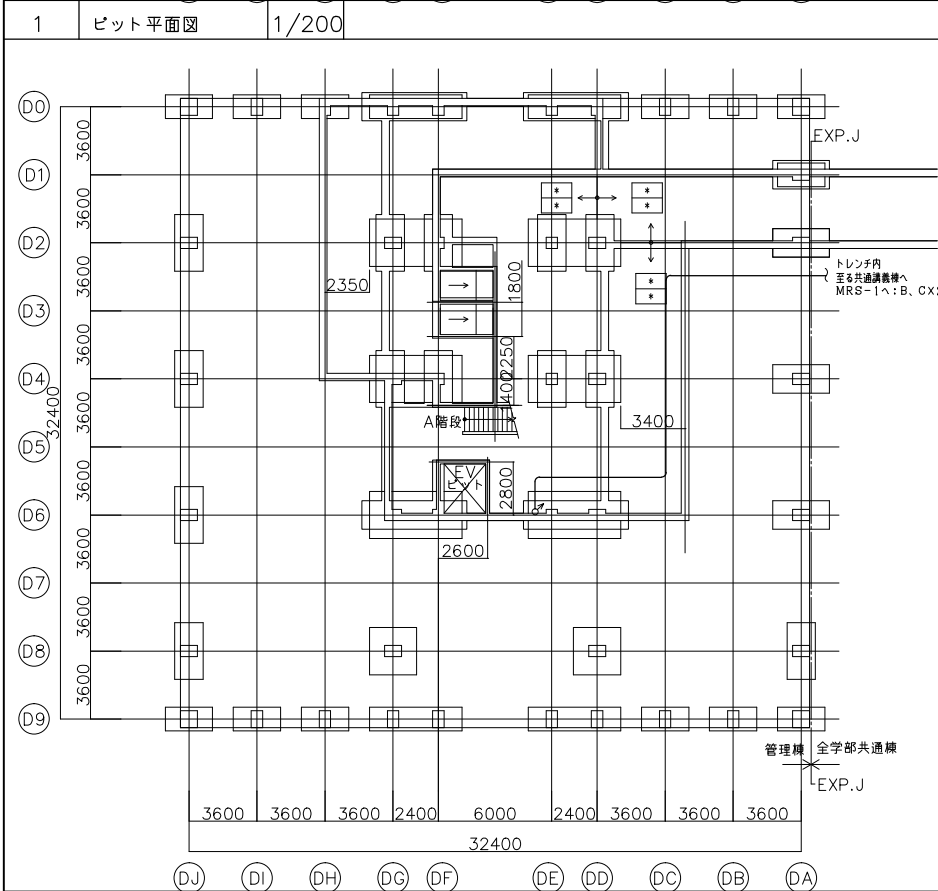
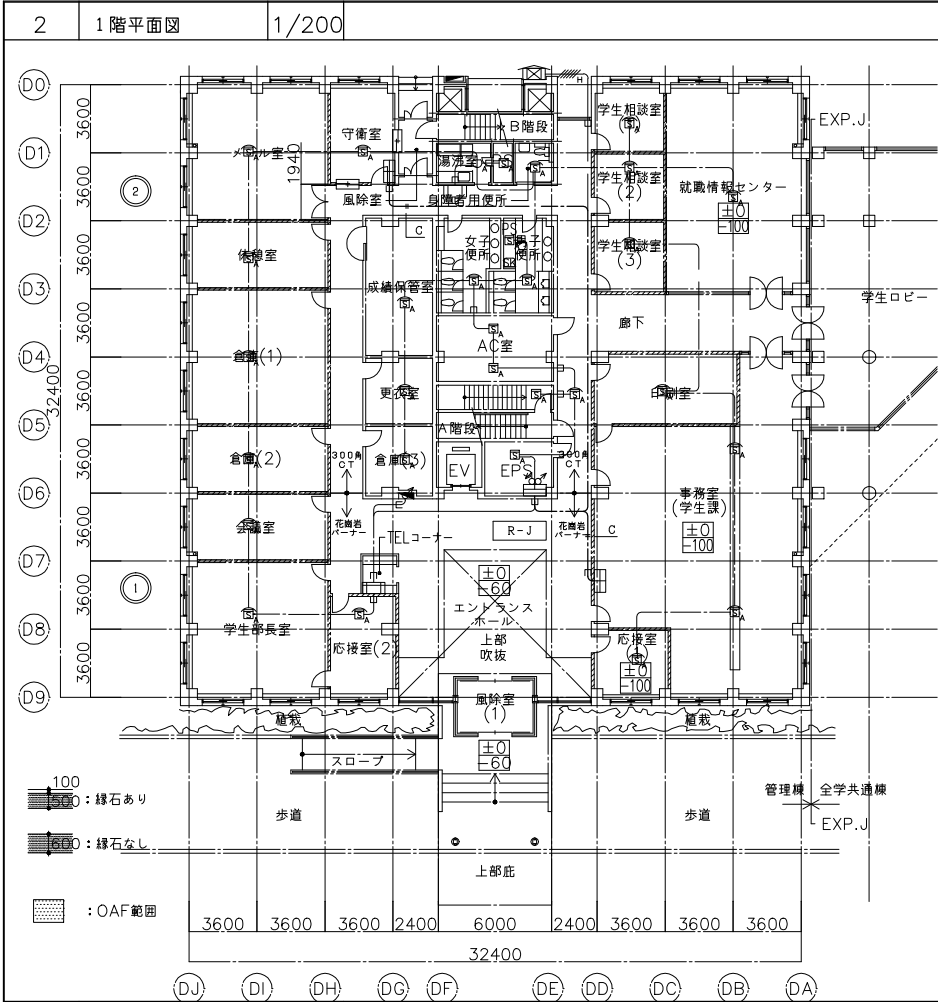


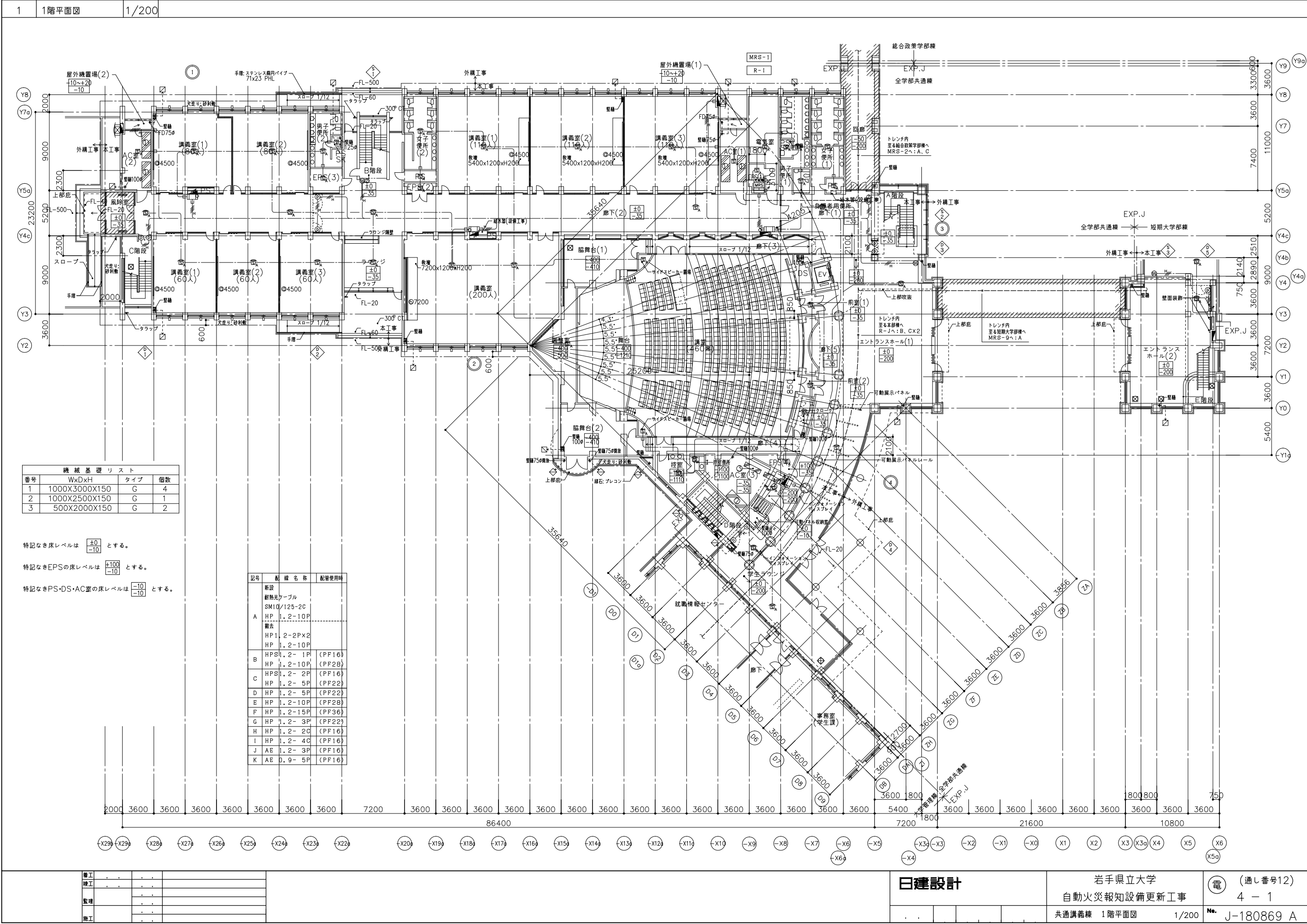


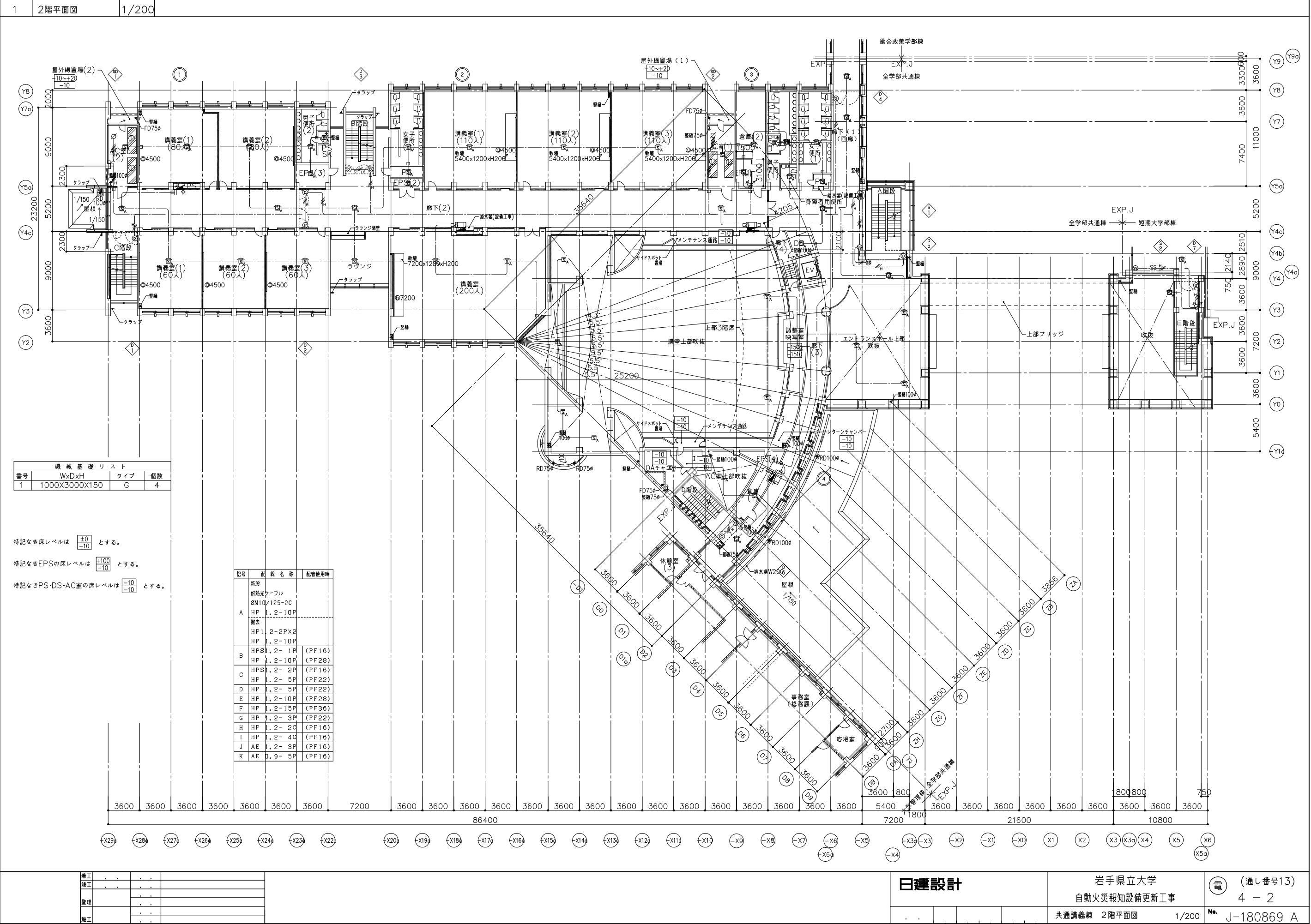
施工
竣工
監理
施工

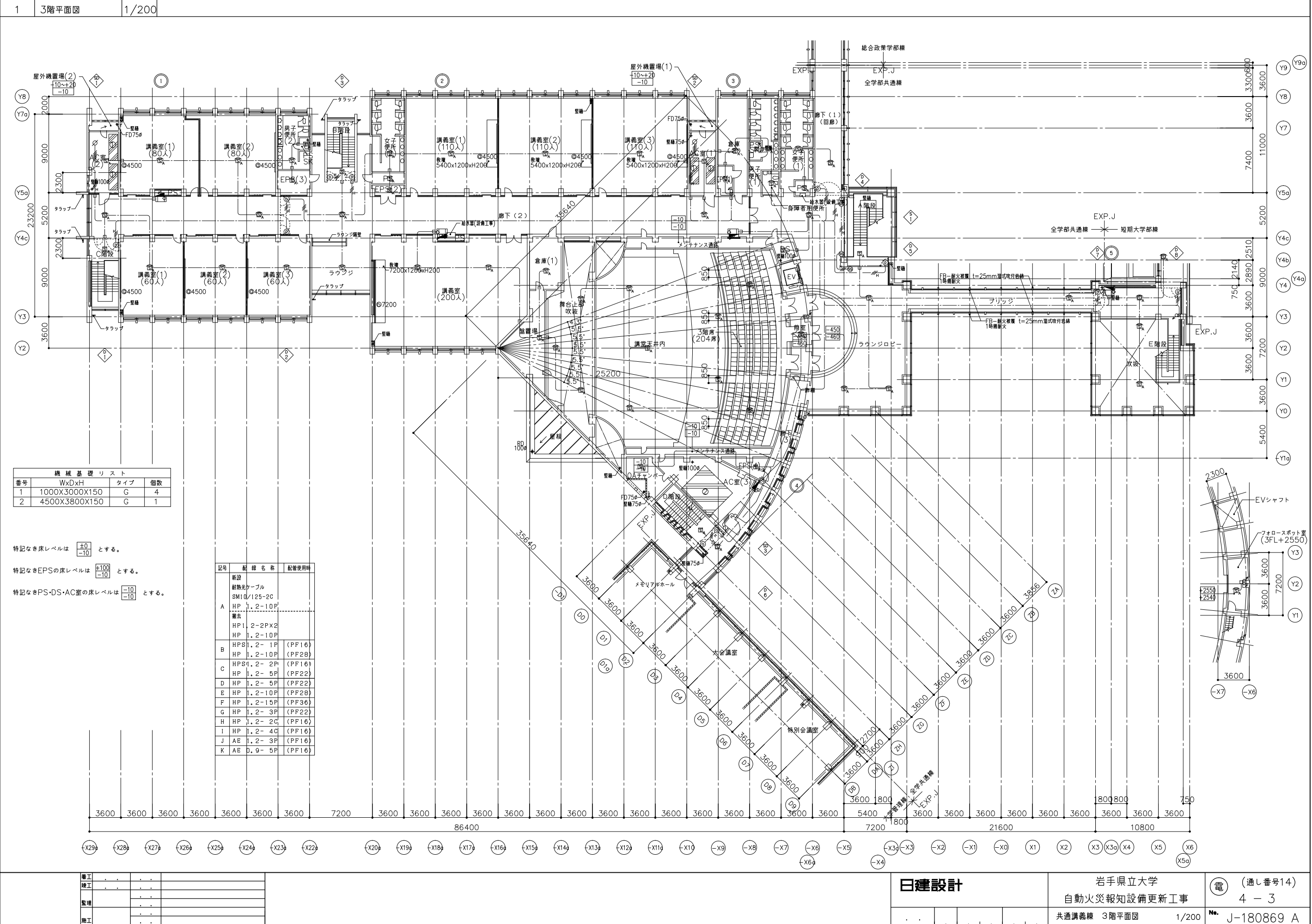


日建設計	岩手県立大学 自動火災報知設備更新工事	（通し番号10） 2 - 6
	幹線系統図（4）	N/S No. J-180869 A









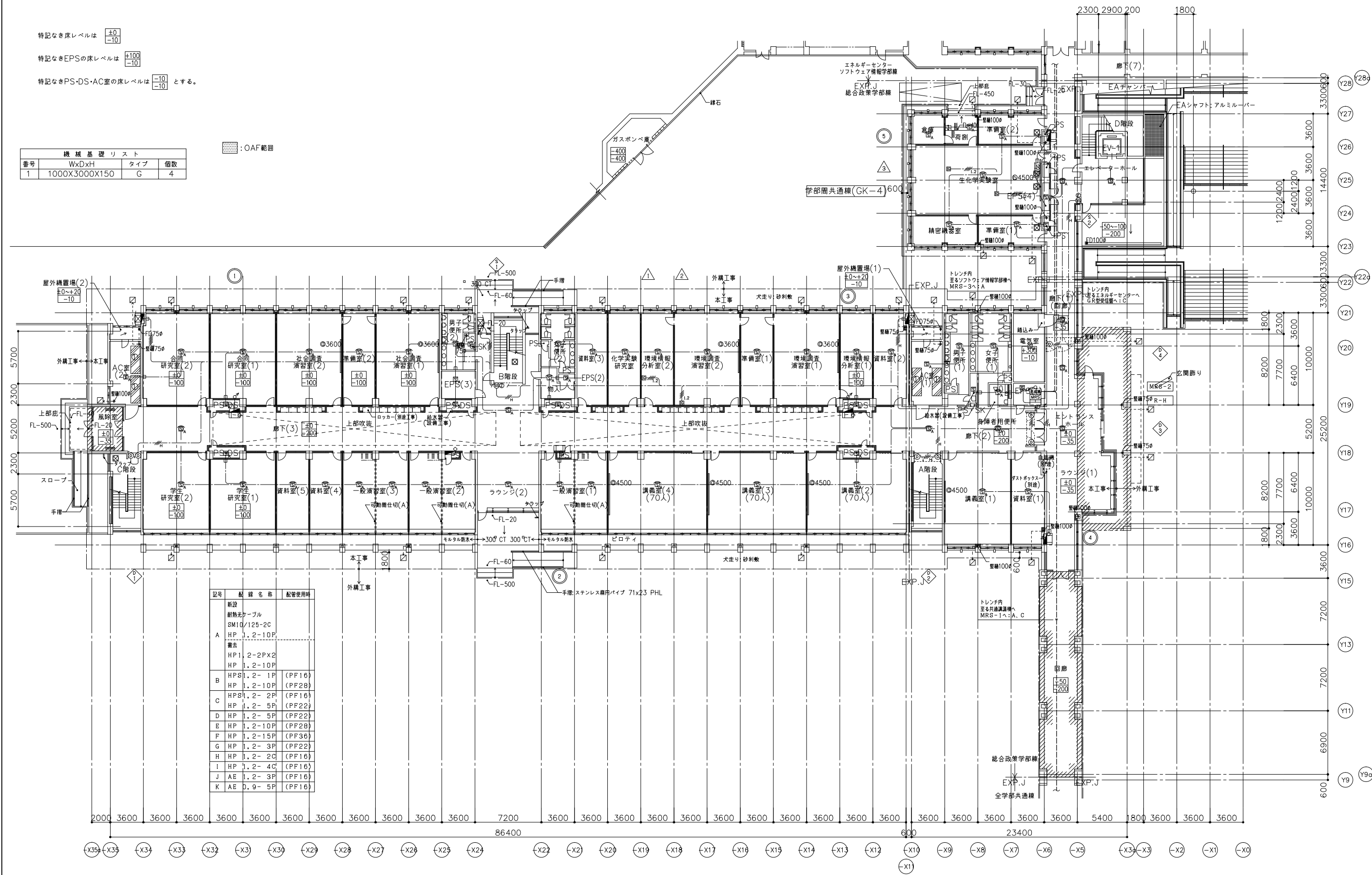
特記なき床レベルは ± 0
-10

特記なきEPSの床レベルは ± 100
-10

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10
-10 とする。

機 械 基 礎 リ ス ト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4

：OAF範囲



記号	配 線 名 称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C HP 1.2-10P	
B	HP 1.2-2PX2 HP 1.2-10P	
C	HPS 1.2-1P HP 1.2-10P	(PF16) (PF28)
D	HPS 1.2-2P HP 1.2-5P	(PF16) (PF22)
E	HP 1.2-5P	(PF22)
F	HP 1.2-10P	(PF28)
G	HP 1.2-15P	(PF36)
H	HP 1.2-3P	(PF22)
I	HP 1.2-2C	(PF16)
J	HP 1.2-4C	(PF16)
K	AE 1.2-3P	(PF16)
L	AE D.9-5P	(PF16)

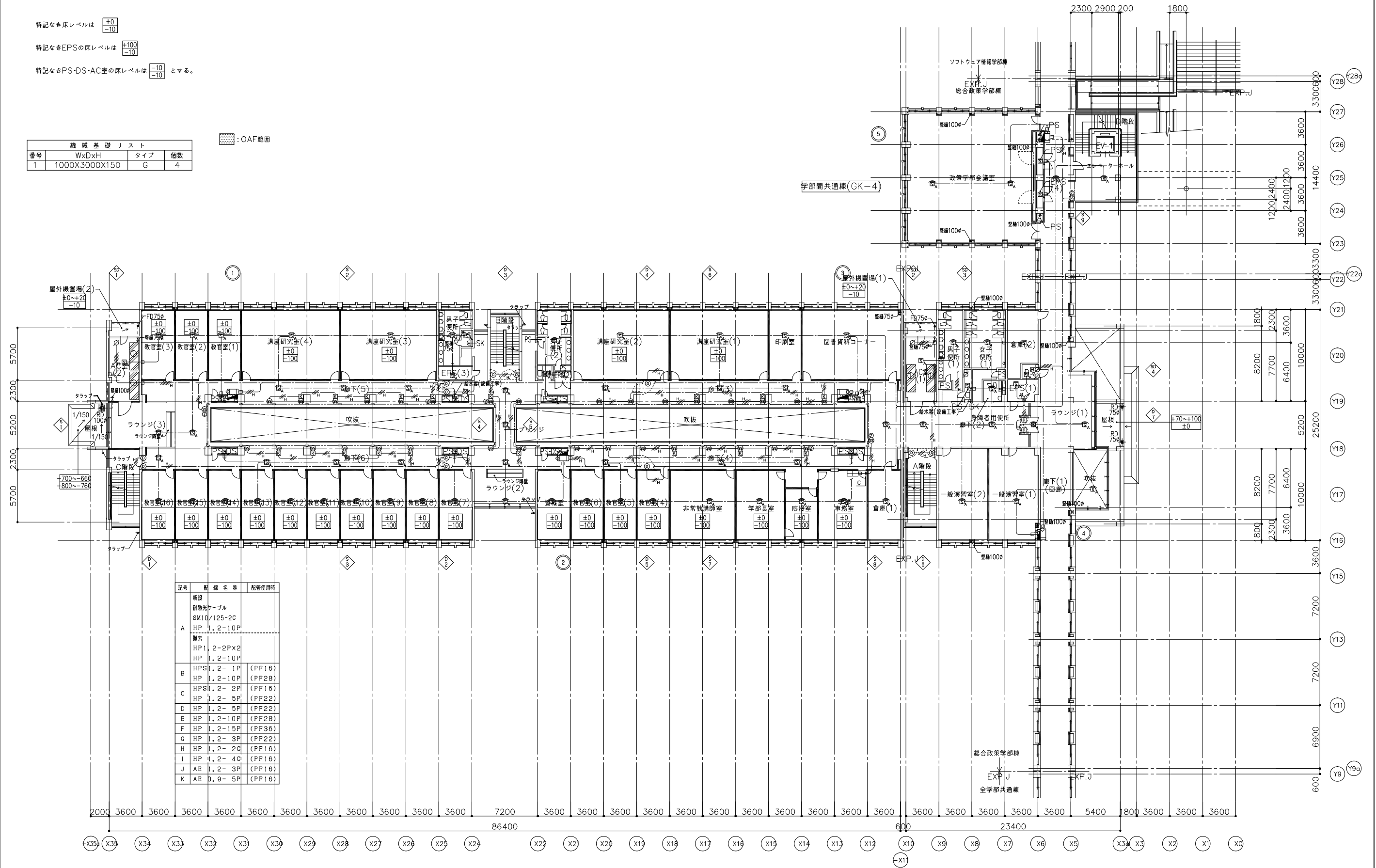
特記なき床レベルは ± 0
-10

特記なきEPSの床レベルは ± 100
-10

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 0
-10 とする。

機 械 基 礎 リ ス ト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4

：OAF範囲



番工
機工
監理
施工

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
総合政策学部棟 2階平面図 1/200

（通し番号17）
5 - 2
No. J-180869 A

特記なき床レベルは $\begin{array}{|c|} \hline \pm 0 \\ \hline -10 \\ \hline \end{array}$ とする。

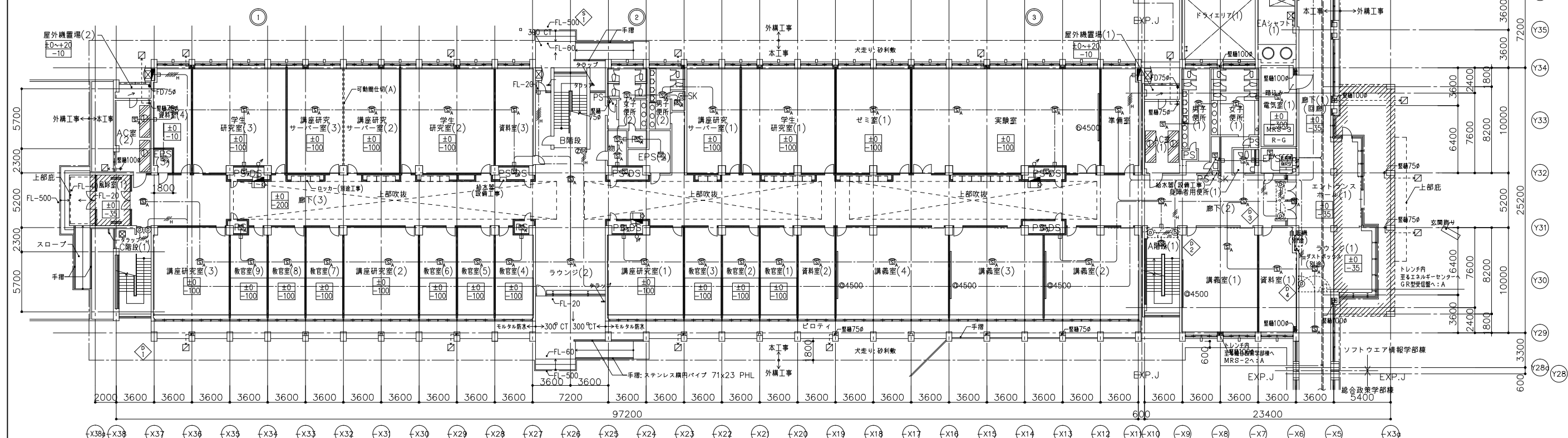
特記なきEPSの床レベルは $\begin{array}{|c|} \hline +100 \\ \hline -10 \\ \hline \end{array}$ とする。

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは $\begin{array}{|c|} \hline -10 \\ \hline -10 \\ \hline \end{array}$ とする。

 : OAF範圍

機 械 基 礎 リ ス ト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	8

記号	配 線 名 称	配管使用時	
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C HP 1.2-10P		
	撤去 HP 1.2-2P×2 HP 1.2-10P		
	B	HPS1.2- 1P HP 1.2-10P	(PF16) (PF28)
		C	HPS1.2- 2P HP 1.2- 5P
D	HP 1.2- 5P		(PF22)
E	HP 1.2-10P	(PF28)	
F	HP 1.2-15P	(PF36)	
G	HP 1.2- 3P	(PF22)	
H	HP 1.2- 2C	(PF16)	
I	HP 1.2- 4C	(PF16)	
J	AE 1.2- 3P	(PF16)	
K	AE 0.9- 5P	(PF16)	



看工	• •	• •	
鍊工	• •	• •	
監理		• •	
		• •	
施工		• •	

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

電 (通し番号20)
6 - 1

ソフトウェア情報学部棟 2階平面図	1/200	No. J-180869 A
-------------------	-------	----------------

特記なき床レベルは

± 0
-10

 とする。

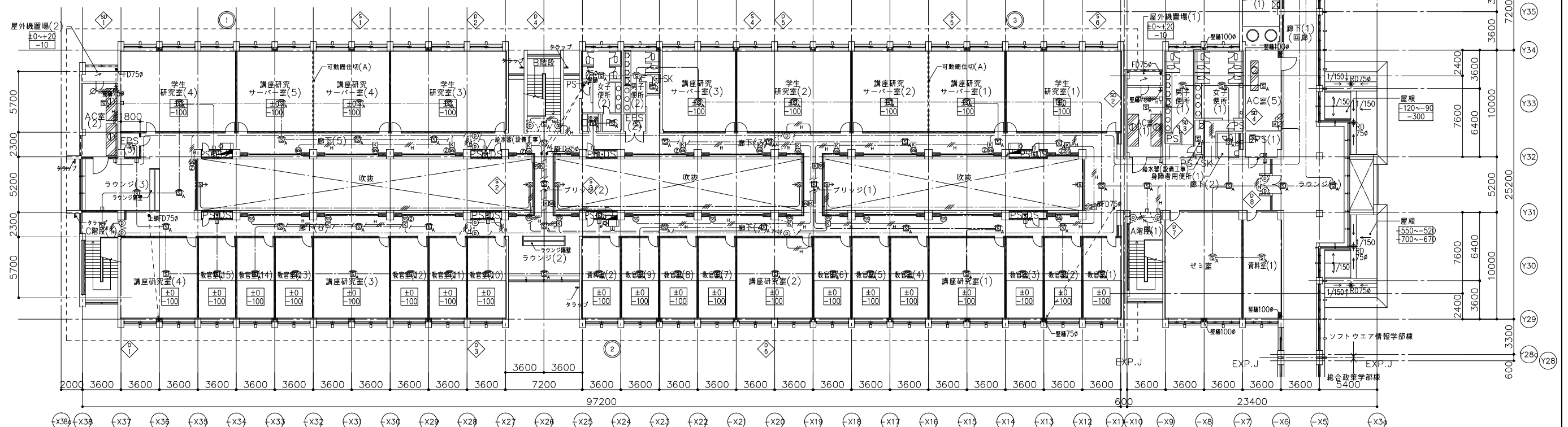
特記なきEPSの床レベルは $\begin{array}{|c|} \hline +100 \\ \hline -10 \\ \hline \end{array}$ とする。

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは $\begin{array}{|c|} \hline -10 \\ \hline -10 \\ \hline \end{array}$ とする。

 : OAF範圍

機 械 基 礎 リ ス ト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	8
2	700X2800X200	G	2

記号	配 線 名 称	配管使用時	
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C HP 1.2-2-10P		
	撤去 HP 1.2-2P×2 HP 1.2-2-10P		
	B	HPS1.2-2-1P HP 1.2-2-10P	(PF16) (PF28)
		C	HPS1.2-2-2P HP 1.2-2-5P
D	HP 1.2-2-5P		(PF22)
E	HP 1.2-2-10P	(PF28)	
F	HP 1.2-2-15P	(PF36)	
G	HP 1.2-2-3P	(PF22)	
H	HP 1.2-2-2C	(PF16)	
I	HP 1.2-2-4C	(PF16)	
J	AE 1.2-2-3P	(PF16)	
K	AE 0.9-2-5P	(PF16)	



着工	・ ・	・ ・	
疎工	・ ・	・ ・	
監理		・ ・	
		・ ・	
施工		・ ・	

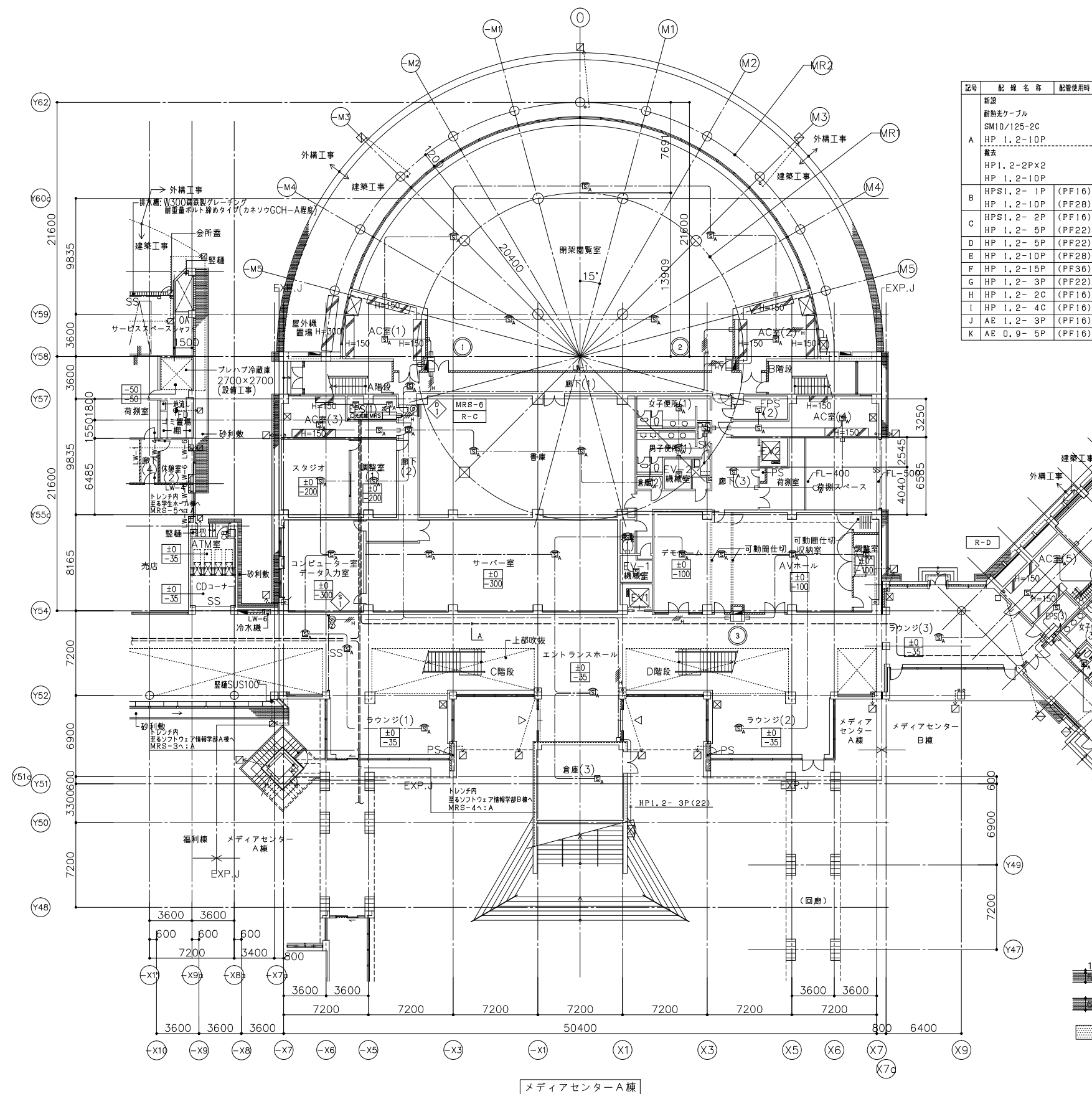
日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

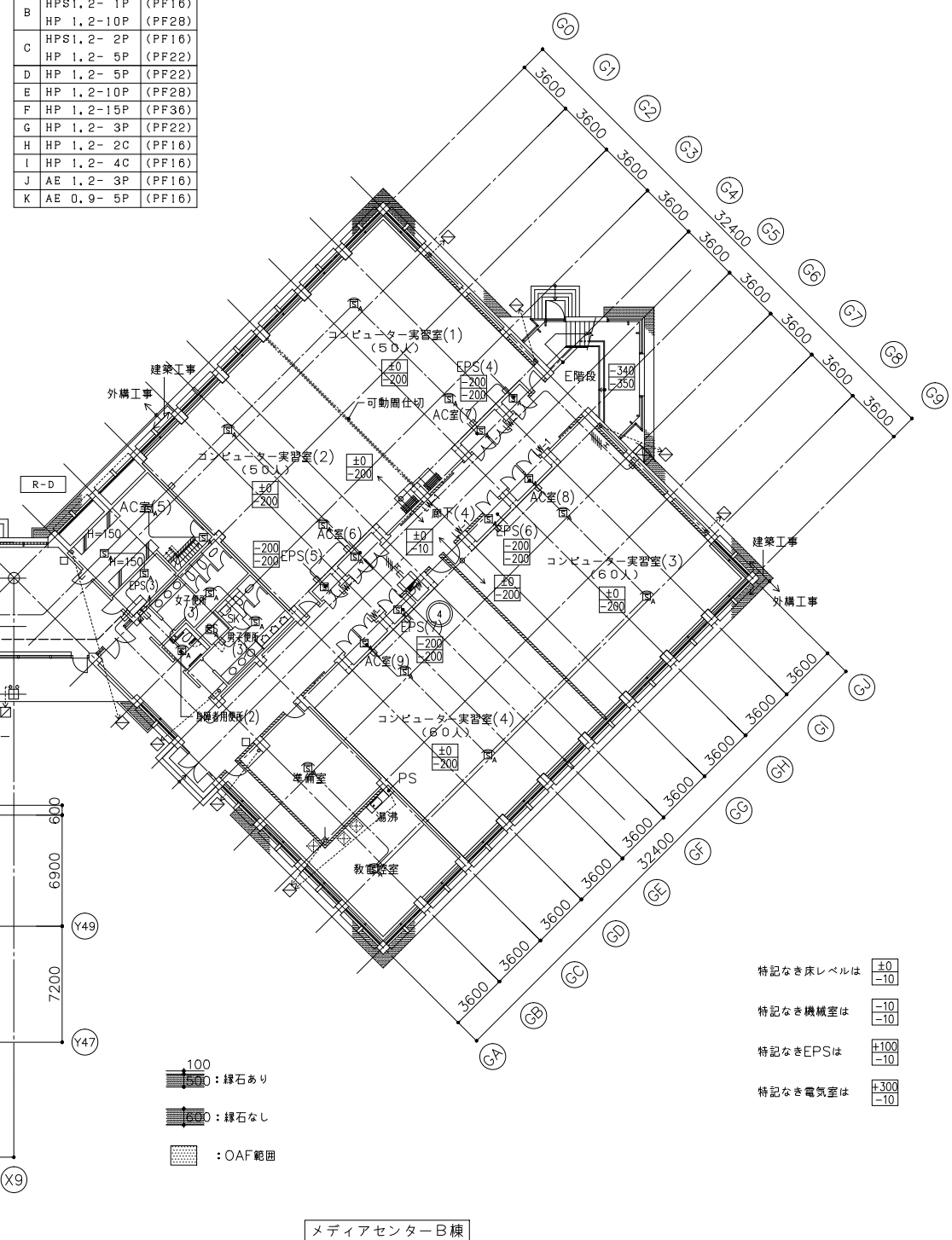
ソフトウェア情報学部棟 4階平面図

(通し番号22)
 6 - 3

No. J-180869 A



記号	記 録 名 称	配置使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1, 2-10P	
	撤去 HP 1, 2-2PX2	
	HP 1, 2-10P	
B	HP81, 2-1P (PF16) HP 1, 2-10P (PF28)	
C	HP81, 2-2P (PF16) HP 1, 2-5P (PF22)	
D	HP 1, 2-5P (PF22)	
E	HP 1, 2-10P (PF28)	
F	HP 1, 2-15P (PF36)	
G	HP 1, 2-3P (PF22)	
H	HP 1, 2-2C (PF16)	
I	HP 1, 2-4C (PF16)	
J	AE 1, 2-3P (PF16)	
K	AE 0, 9-5P (PF16)	



特記なき床レベルは	$\begin{matrix} +0 \\ -10 \end{matrix}$
特記なき機械室は	$\begin{matrix} -10 \\ -10 \end{matrix}$
特記なきEPSは	$\begin{matrix} +100 \\ -10 \end{matrix}$
特記なき電気室は	$\begin{matrix} +300 \\ -10 \end{matrix}$

普工	· ·	· ·	
技工	· ·	· ·	
監理		· ·	
		· ·	
施工		· ·	
		· ·	

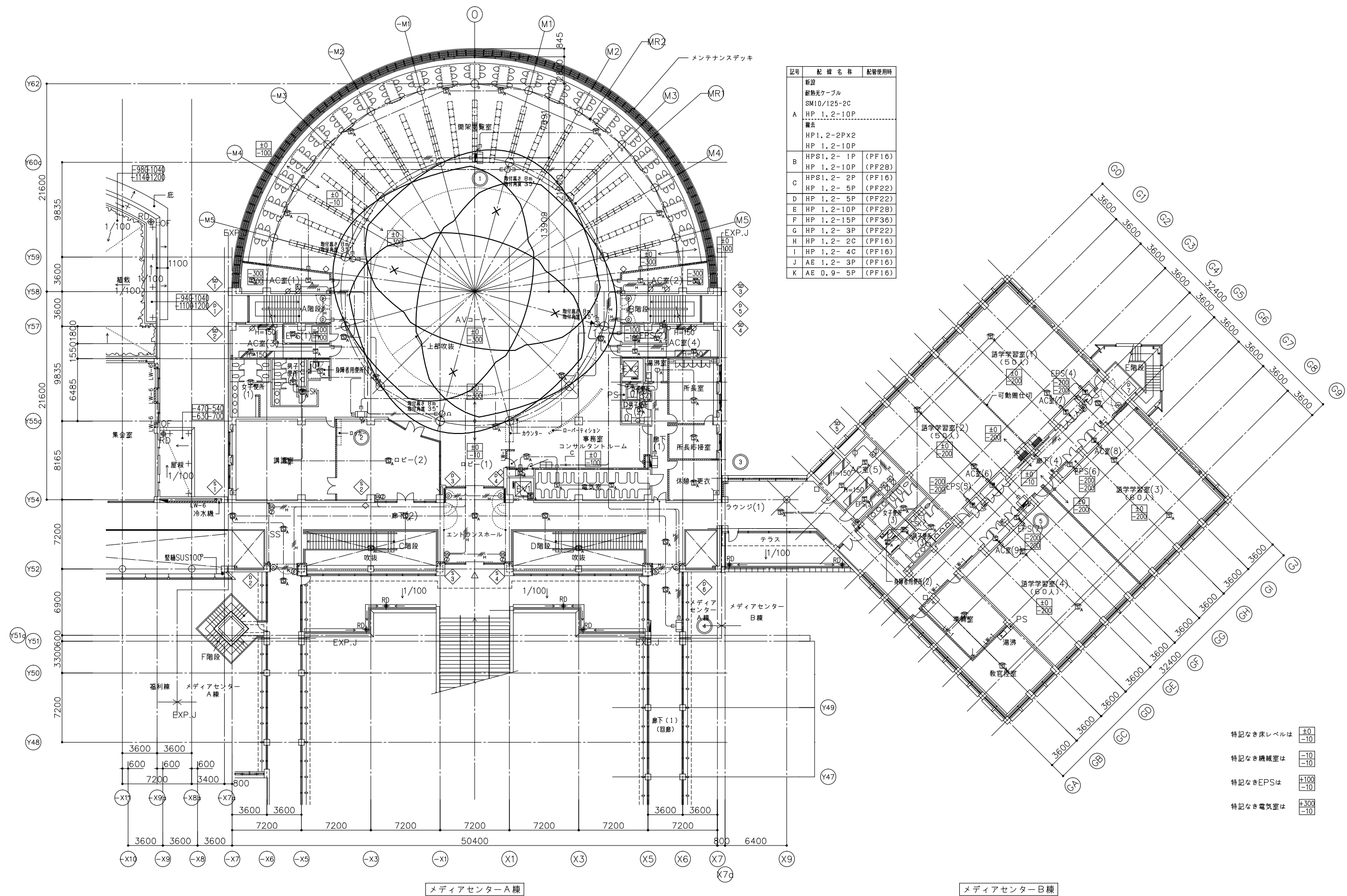
日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

メディアセンターA棟, B棟 2階平面図 1/200

電 (通し番号24)

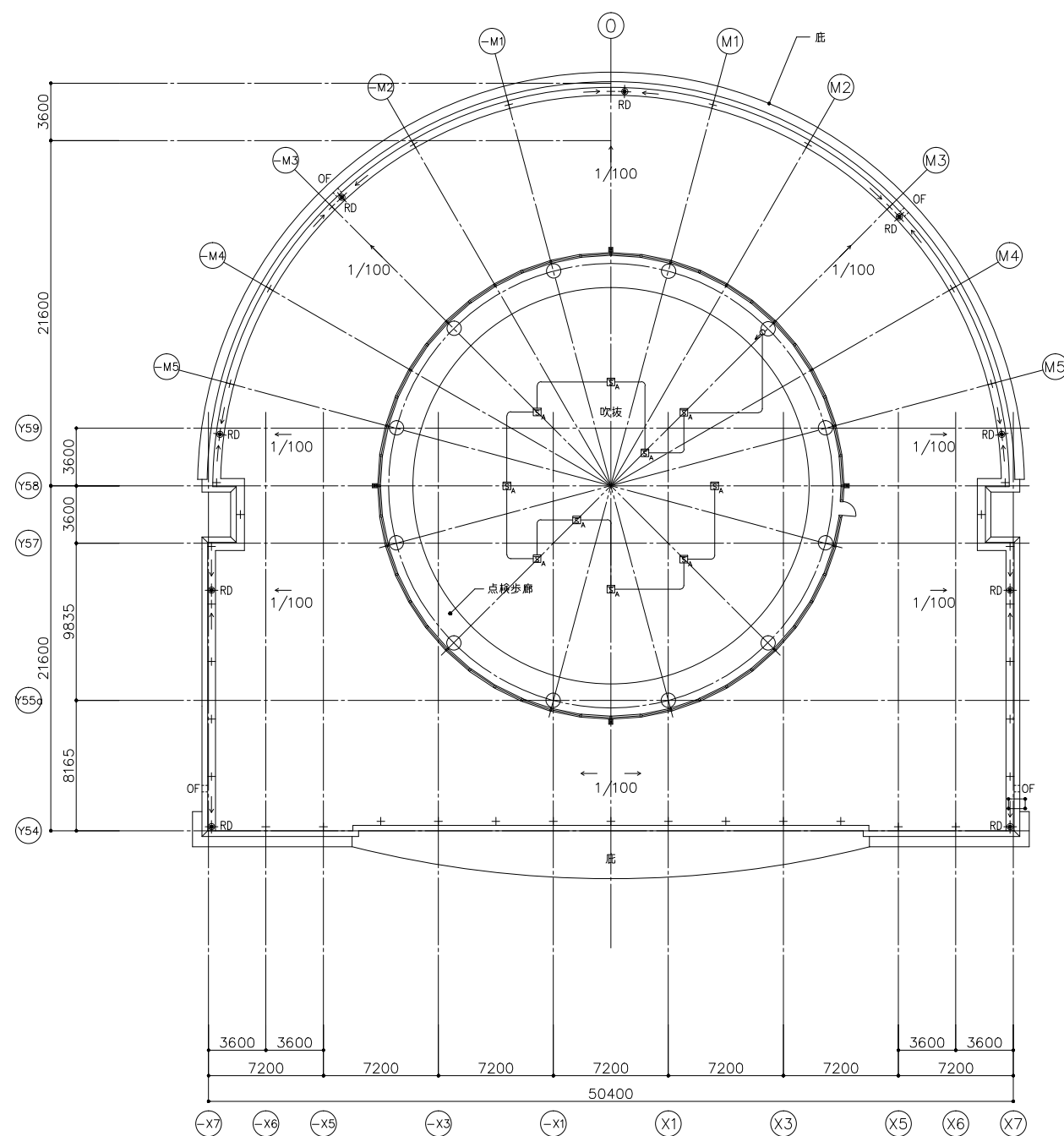
No. J-180869 A



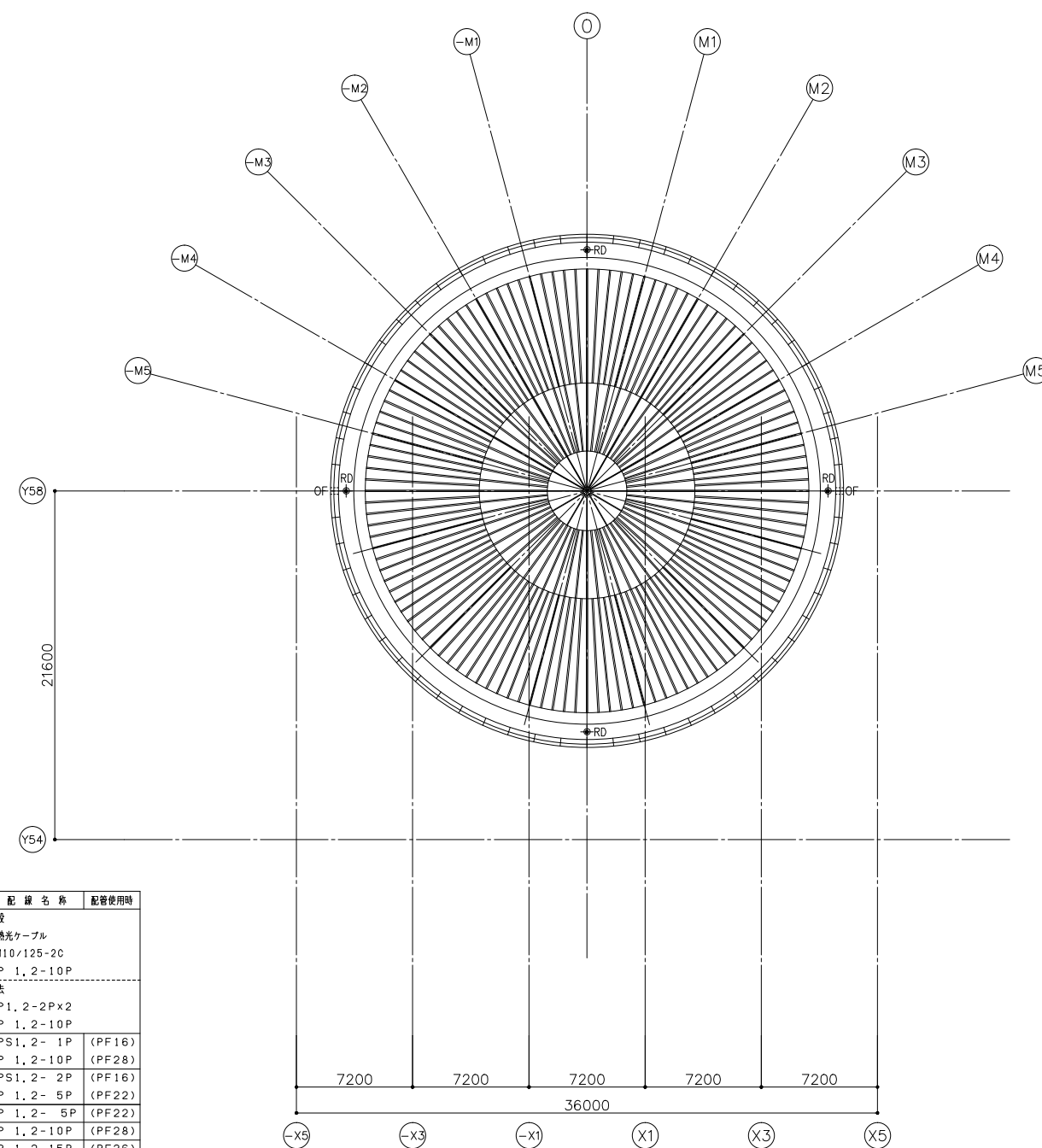
記号	配線名称	配管使用時
A	新設 熱光ケーブル SM10/125-2C HP 1, 2-10P	
	備注 HP1, 2-20P×2 HP 1, 2-10P	
	B HPS1, 2-1P (PF16) HP 1, 2-10P (PF28)	
	C HPS1, 2-2P (PF16) HP 1, 2-5P (PF22)	
D	HP 1, 2-5P (PF22)	
E	HP 1, 2-10P (PF28)	
F	HP 1, 2-15P (PF36)	
G	HP 1, 2-3P (PF22)	
H	HP 1, 2-2C (PF16)	
I	HP 1, 2-4C (PF16)	
J	AE 1, 2-3P (PF16)	
K	AE 0, 9-5P (PF16)	

特記なき床レベルは	$\begin{matrix} +0 \\ -10 \end{matrix}$
特記なき機械室は	$\begin{matrix} -10 \\ -10 \end{matrix}$
特記なきEPSは	$\begin{matrix} +100 \\ -10 \end{matrix}$
特記なき電気室は	$\begin{matrix} +300 \\ -10 \end{matrix}$

着工	・ ・	・ ・	
竣工	・ ・	・ ・	
監理		・ ・	
		・ ・	
施工		・ ・	
		・ ・	



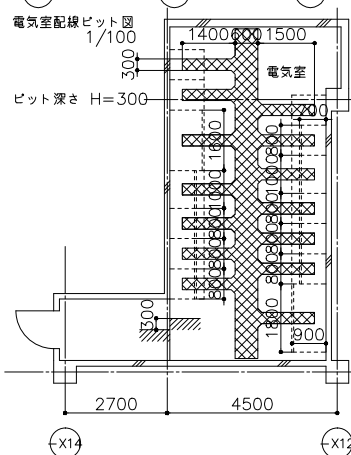
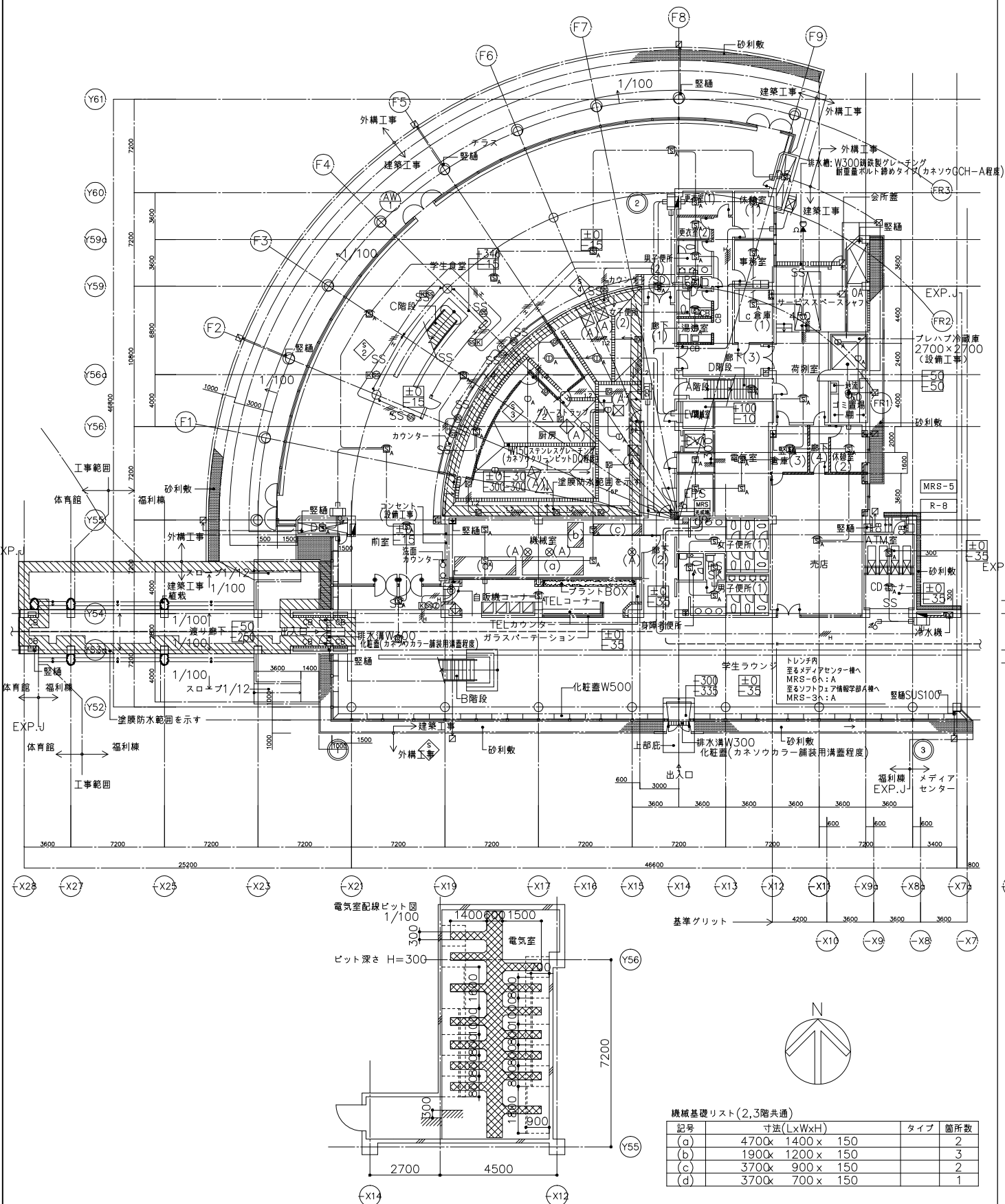
メディアセンターA棟



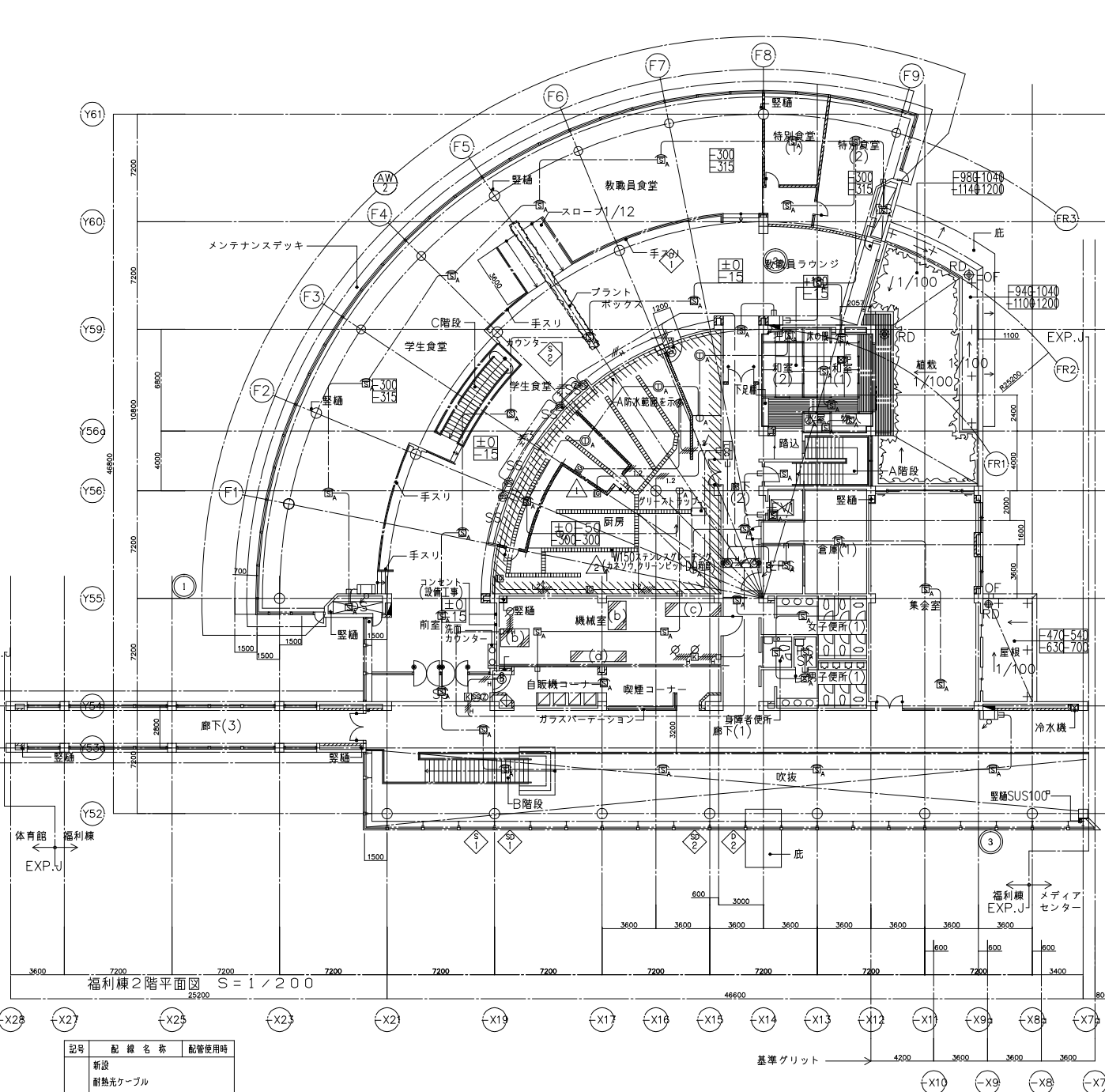
メディアセンターA棟

記号	配 線 名 称	配管使用時
A	新設 新熱交換ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1, 2-10P	
	溝敷 HP 1, 2-2P×2	
	HP 1, 2-10P	
B	HPS1, 2- 1P	(PF16)
	HP 1, 2-10P	(PF28)
C	HPS1, 2- 2P	(PF16)
	HP 1, 2- 5P	(PF22)
D	HP 1, 2- 5P	(PF22)
E	HP 1, 2-10P	(PF28)
F	HP 1, 2-15P	(PF36)
G	HP 1, 2- 3P	(PF22)
H	HP 1, 2- 2C	(PF22)
I	HP 1, 2- 4C	(PF16)
J	AE 1, 2- 3P	(PF16)
K	AE 0, 9- 5P	(PF16)

着工	・ ・	・ ・	
竣工	・ ・	・ ・	
監理		・ ・	
		・ ・	
施工		・ ・	
		・ ・	



機械基礎リスト(2,3階共通)				
記号	寸法(LxWxH)	タイプ	箇所数	
(a)	4700x 1400 x 150		2	
(b)	1900x 1200 x 150		3	
(c)	3700x 900 x 150		2	
(d)	3700x 700 x 150		1	



記号	設備名称	配管使用時
新設		
耐熱光ケーブル		
SM10/125-2C		
A	HP 1.2-10P	
撤去		
HP 1.2-2PX2		
HP 1.2-10P		
B	HP 1.2-1P (PF16)	
HP 1.2-10P (PF28)		
C	HP 1.2-2P (PF16)	
HP 1.2-5P (PF22)		
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	

2階、3階共通

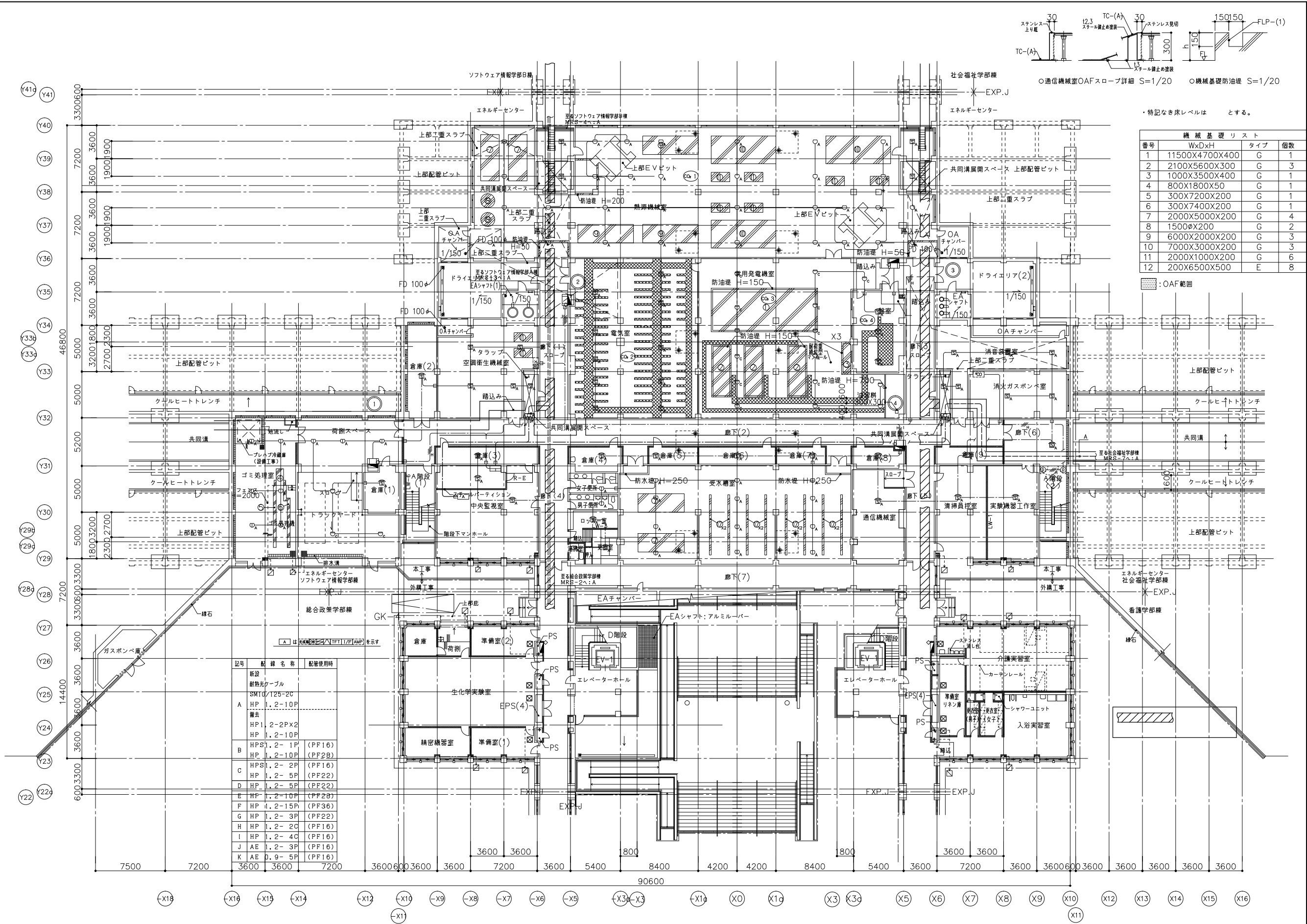
特記なき床レベルは
±0
±10
±10

特記なき機械室は
±0
±10
±10

特記なきEPSは
±100
±10
±10

特記なき電気室は
±300
±10
±10

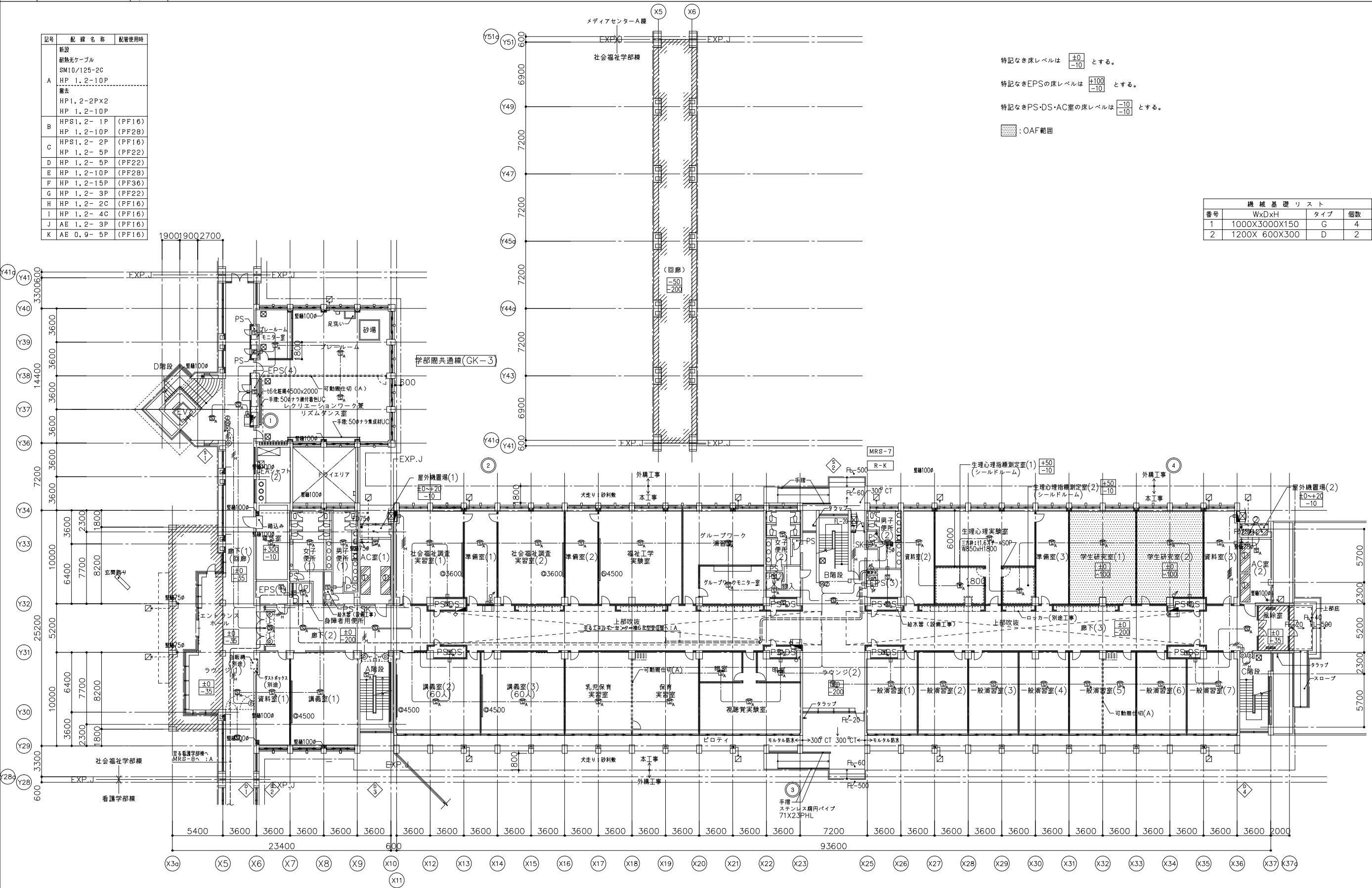
審工				
竣工				
監理				
施工				



機械基礎リスト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	11500X4700X400	G	1
2	2100X5600X300	G	3
3	1000X3500X400	G	1
4	800X1800X50	G	1
5	300X7200X200	G	1
6	300X7400X200	G	1
7	2000X5000X200	G	4
8	1500X200	G	2
9	6000X2000X200	G	3
10	7000X3000X200	G	3
11	2000X1000X200	G	6
12	200X6500X500	E	8

記号	配線名称	配管使用時
新設	耐熱光ケーブル	
SM10	125-20	
A	HP 1.2-10F	
撤去	HP1.2-2PX2	
HP 1.2-10F		
B	HPS 1.2-1F (PF16)	
HP 1.2-10F		
C	HPS 1.2-2F (PF16)	
HP 1.2-5F		
D	HP 1.2-5F (PF22)	
E	HP 1.2-10F (PF28)	
F	HP 1.2-15F (PF36)	
G	HP 1.2-3F (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3F (PF16)	
K	AE 0.9-5F (PF16)	

記号	配線名称	配管使用時
新設	耐熱ケーブル SM10/125-2C	
A	HP 1.2-10P	
撤去	HP 1.2-2PX2 HP 1.2-10P	
B	HPS1.2-1P HP 1.2-10P	(PF16) (PF28)
C	HPS1.2-2P HP 1.2-5P	(PF16) (PF22)
D	HP 1.2-5P	(PF22)
E	HP 1.2-10P	(PF28)
F	HP 1.2-15P	(PF36)
G	HP 1.2-3P	(PF22)
H	HP 1.2-2C	(PF16)
I	HP 1.2-4C	(PF16)
J	AE 1.2-3P	(PF16)
K	AE 0.9-5P	(PF16)



特記なき床レベルは ± 0 とする。
 -10

特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 -10

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは -10 とする。
 -10

：OAF範囲

機械基礎リスト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	1200X 600X300	D	2

着工			
竣工			
監理			
施工			

日建設計

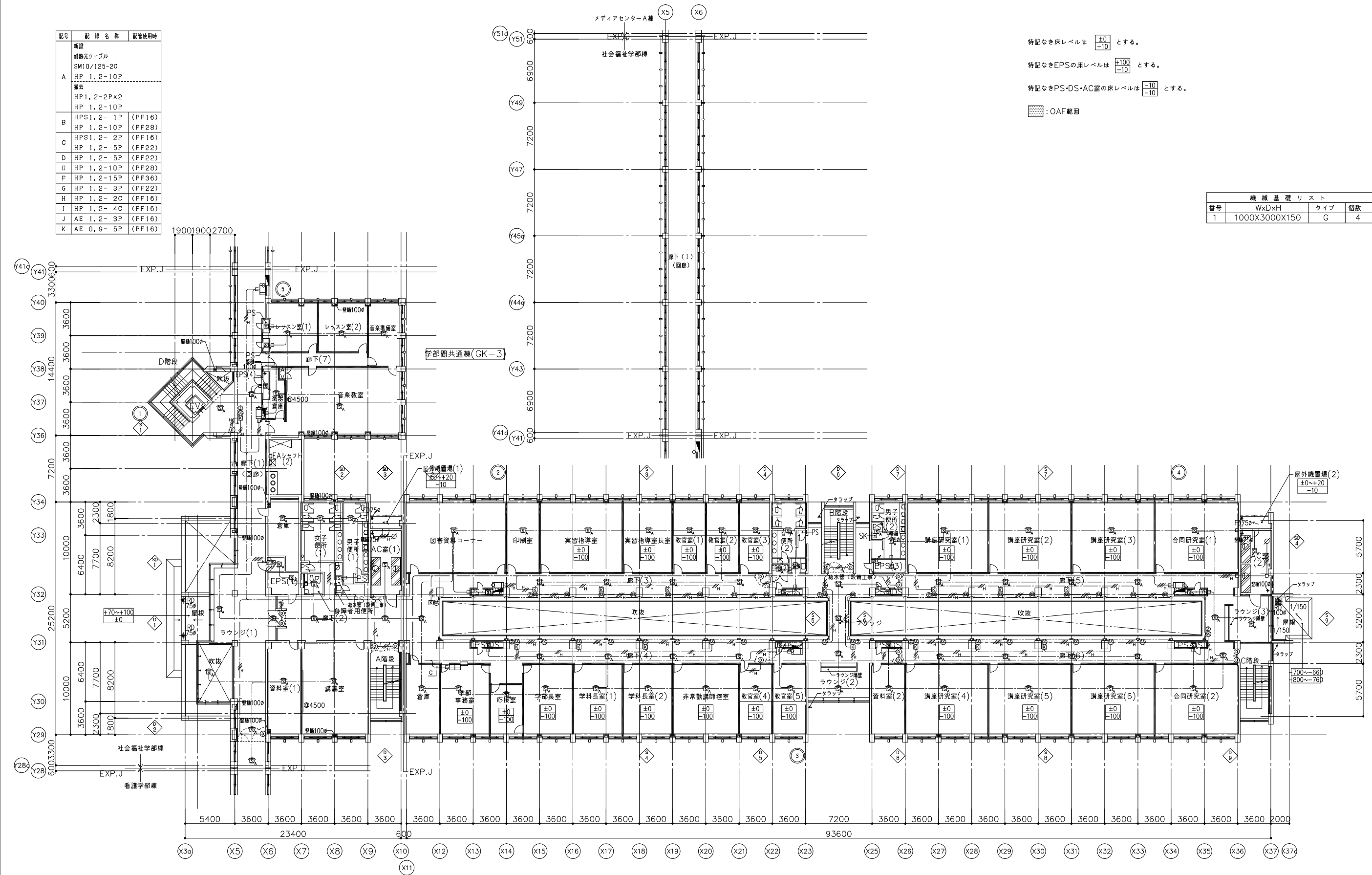
岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

社会福祉学部棟 2階平面図 1/200

（通し番号32）
11 - 1

No. J-180869 A

記号	配線名称	配管使用時
A	新設	
	耐熱光ケーブル	
	SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
B	敷去	
	HP1.2-2PX2	
	HP 1.2-10P	
	HP 1.2-10P	
C	HP 1.2-1P	(PF16)
	HP 1.2-10P	(PF28)
D	HP 1.2-2P	(PF16)
	HP 1.2-5P	(PF22)
E	HP 1.2-5P	(PF22)
	HP 1.2-10P	(PF28)
F	HP 1.2-15P	(PF36)
	HP 1.2-3P	(PF22)
G	HP 1.2-2C	(PF16)
	HP 1.2-4C	(PF16)
H	AE 1.2-3P	(PF16)
	AE 0.9-5P	(PF16)



特記なき床レベルは ± 0 とする。
特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10 とする。
: OAF範囲

機械基礎リスト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4

施工
竣工
監理
施工

日建設計

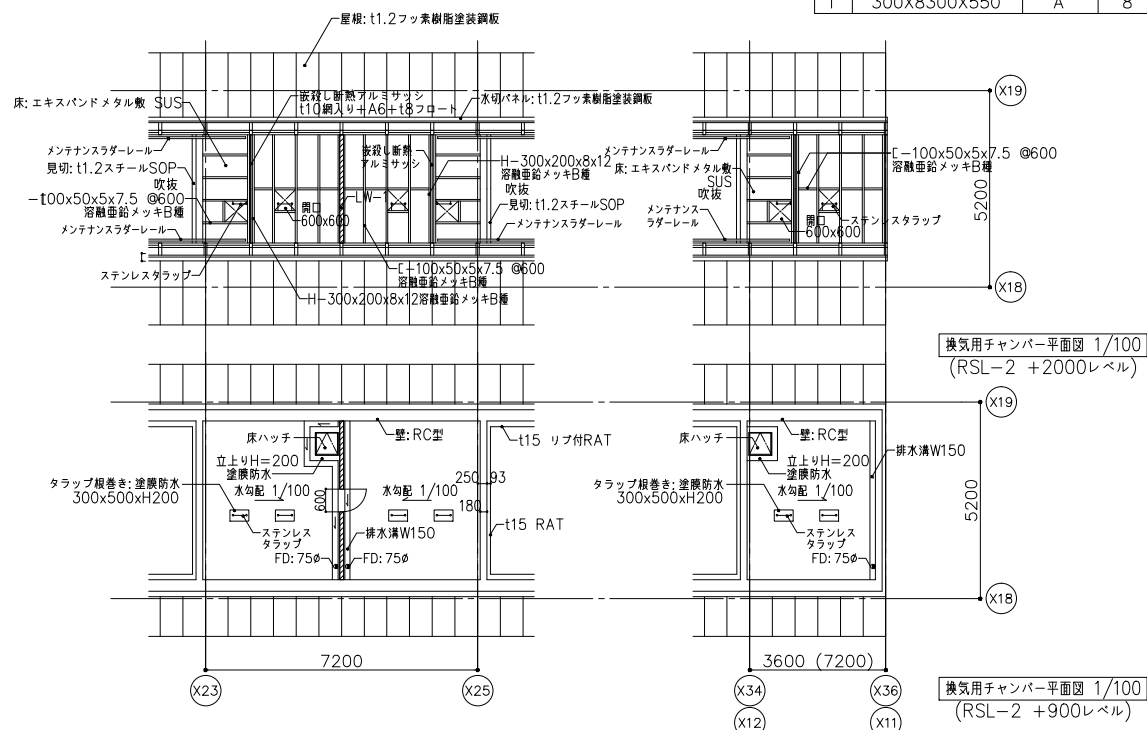
岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事


（通し番号33）
11 - 2

社会福祉学部棟 3階平面図 1/200

No. J-180869 A

機 械 基 礎 リ ス ト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	300X8300X550	A	8



記号	配 電 盤	形 式	配電使用時
	「電盤」 断熱材付 SM10/125-2C		F
A	HP 1, 2-10P 蓋付 HP1, 2-2PX2 HP 1, 2-10P		
B	HPS1, 2- 1P HP 1, 2-10P		(PF16) (PF28)
C	HPS1, 2- 2P HP 1, 2- 5P		(PF16) (PF22)
D	HP 1, 2- 5P		(PF22)
E	HP 1, 2-10P		(PF28)
F	HP 1, 2-15P		(PF36)
G	HP 1, 2- 3P		(PF22)
H	HP 1, 2- 2C		(PF16)
I	HP 1, 2- 4C		(PF16)
J	AE 1, 2- 3P		(PF16)
K	AE 0, 9- 5P		(PF16)

着工	
竣工	
監理			.	.	
			.	.	
施工			.	.	

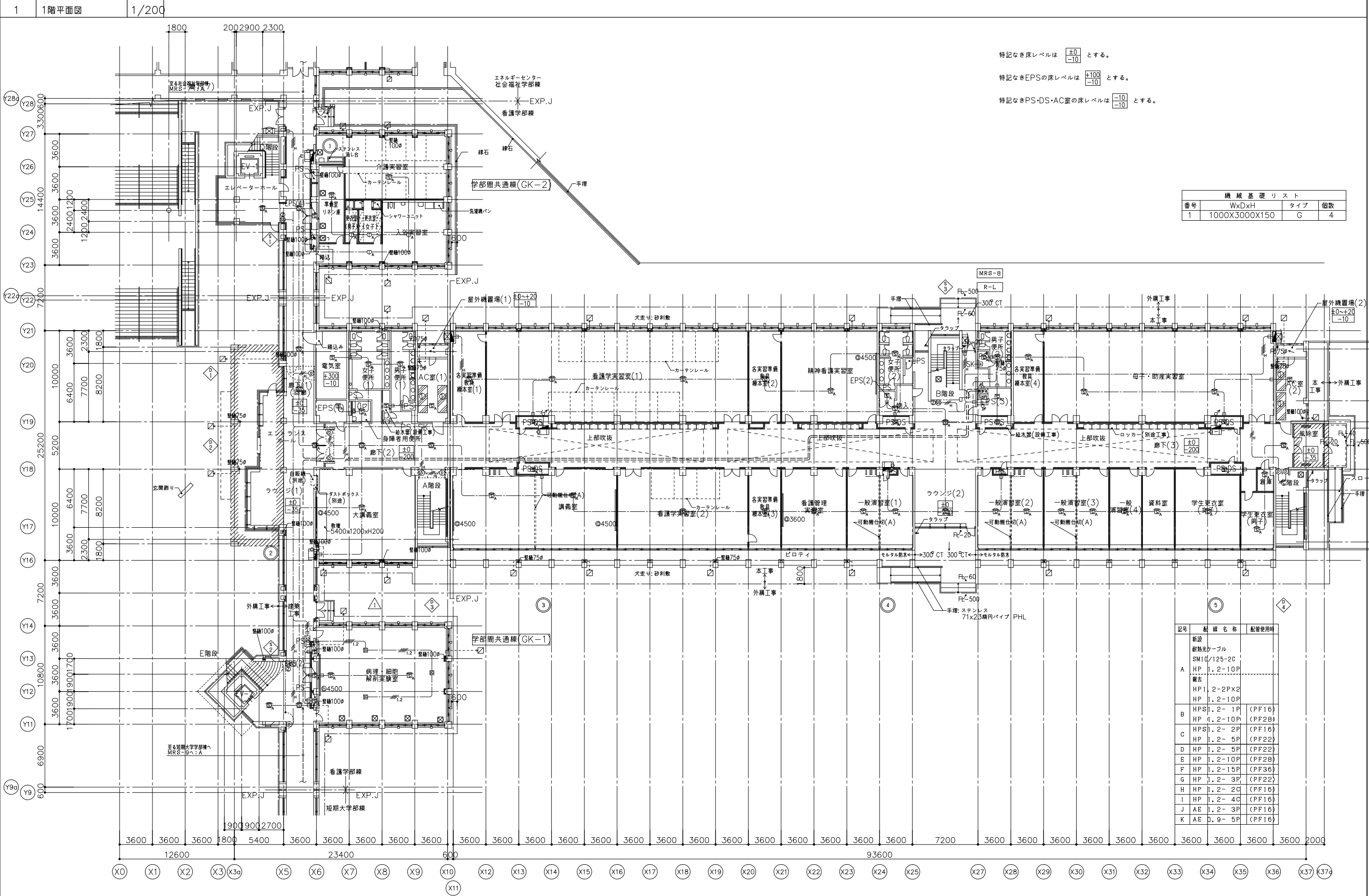
日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

社会福祉学部棟 塔屋屋根平面図 1/200

① (通し番号35)
11-4

No. J-180869 A



特記なき床レベルは ± 0 とする。

特記なきEPSの床レベルは $\frac{+100}{-10}$ とする。

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは $\frac{-10}{-10}$ とする。

機 械 基 礎 リ ス ト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4

記号	配 線 名 称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10125-2C	
	HP 1. 2-10P	
	HP 1. 2-2PX2	
	HP 1. 2-10P	
B	HPS1. 2- 1P	(PF16)
	HP 1. 2-10P	(PF28)
C	HPS1. 2- 2P	(PF16)
	HP 1. 2- 5P	(PF22)
D	HP 1. 2- 5P	(PF22)
E	HP 1. 2-10P	(PF28)
F	HP 1. 2-15P	(PF36)
G	HP 1. 2- 3P	(PF22)
H	HP 1. 2- 2C	(PF16)
I	HP 1. 2- 4C	(PF16)
J	AE 1. 2- 3P	(PF16)
K	AE 1. 2- 5P	(PF16)

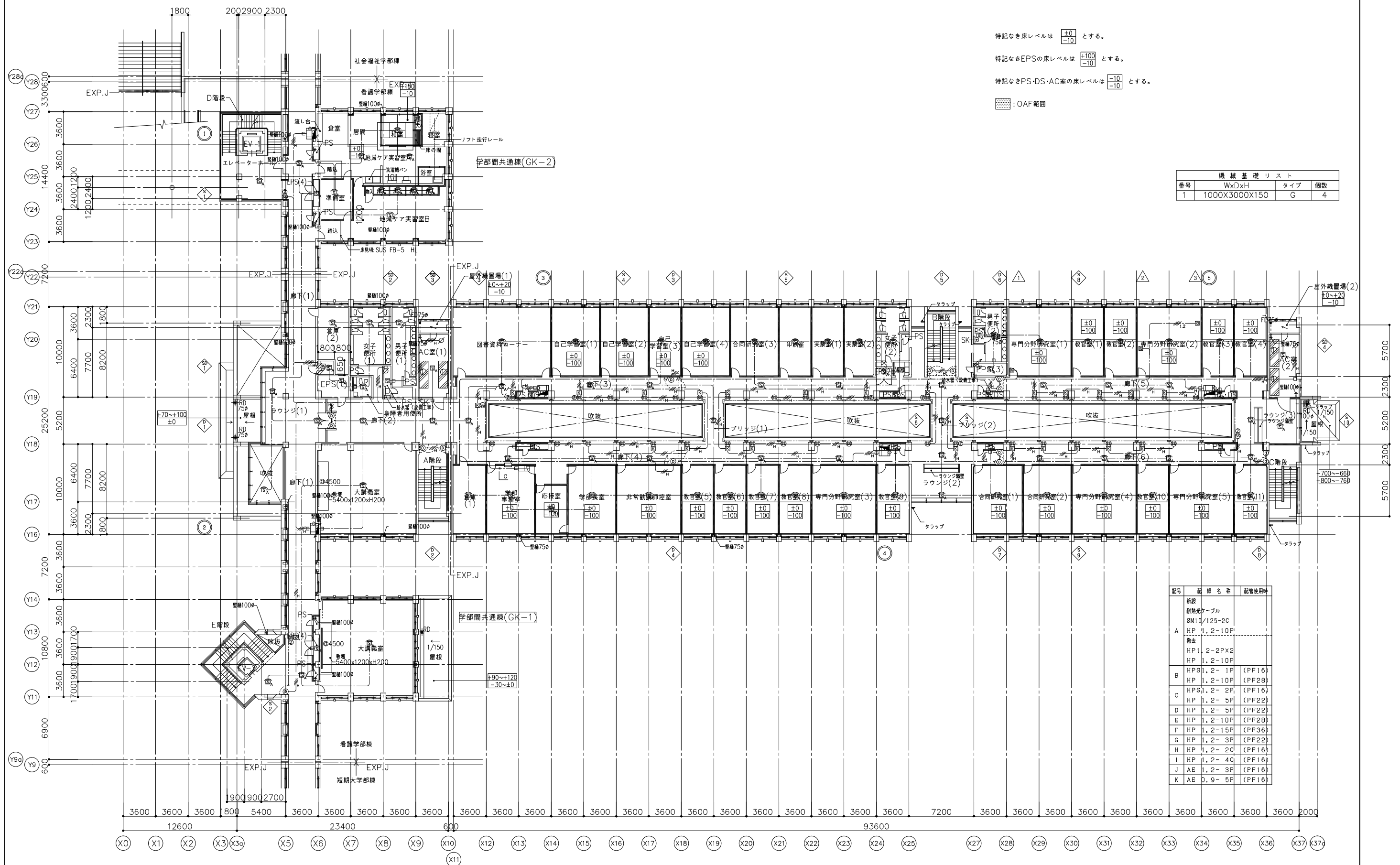
審工
検工
監理
施工

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

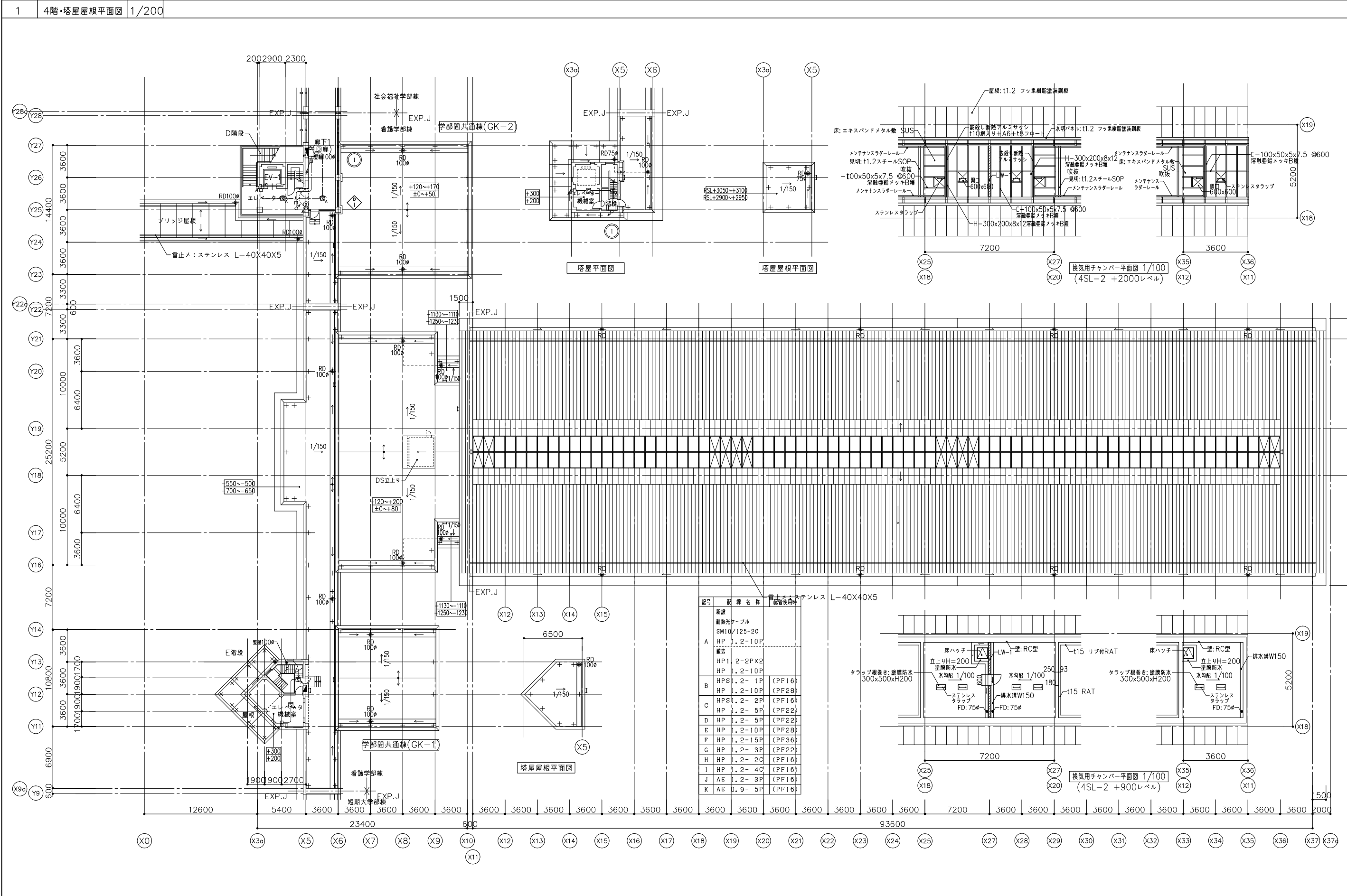
看護学部棟 1階平面図 1/200

電 (通し番号36)
12-1
No. J-180869 A



機 械 基 礎 リ ス ト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4

記号	配線名称	配管使用時
	新設	
	耐熱劣化ケーブル SM10/125-2C	
A	HP 1, 2-10 ⁰	
	撤去	
	HP 1, 2-2PX2	
	HP 1, 2-10 ^F	
B	HPS1, 2-1 ^F	(PF16)
	HP 1, 2-10 ^F	(PF28)
C	HPS1, 2-2 ^F	(PF16)
	HP 1, 2-5 ^F	(PF22)
D	HP 1, 2-5 ^F	(PF22)
E	HP 1, 2-10 ^F	(PF28)
F	HP 1, 2-15 ^F	(PF36)
G	HP 1, 2-3 ^F	(PF22)
H	HP 1, 2-2 ^F	(PF16)
I	HP 1, 2-4 ^C	(PF16)
J	AE 1, 2-3 ^F	(PF16)
K	AE D, 9-5 ^F	(PF16)



	着工			日建設計				岩手県立大学 自動火災報知設備更新工事		⓪ (通し番号39) 12 - 4
	竣工									
	監理		..							看護学部棟 4階・塔屋屋根平面図 1/200	No. J-180869 A	
	施工		..									
			..									

